

## 8-4-2 植物

工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤード及び工事用道路の設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在により、対象事業実施区域及びその周囲で、重要な種及び群落への影響のおそれがあることから、環境影響評価を行った。

### (1) 調査

#### 1) 調査すべき項目

##### ア. 高等植物に係る植物相及び植生の状況

調査項目は、高等植物に係る植物相及び植生の状況とした。

##### イ. 高等植物に係る重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況

調査項目は、高等植物に係る重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況とした。

#### 2) 調査の基本的な手法

##### ア. 高等植物に係る植物相及び植生の状況

文献調査により、地域に生育する高等植物関連の文献、資料を収集し整理した。なお、必要に応じて専門家へのヒアリングを行った。

現地調査の方法を表 8-4-2-1 に示す。

表 8-4-2-1 高等植物の調査方法

調査項目	調査方法	
高等植物に係る植物相	任意確認	調査地域内を任意に踏査し、確認された種を記録した。調査の対象はシダ植物以上の高等植物とし、現地での同定が困難な種は標本を持ち帰り、室内で同定を行った。
高等植物に係る植生	コドラート法	植生や土地の利用の状況によって区分された植物群落について、方形枠（コドラート）を設定し、植生の状況を調査した。調査した植生はブランク法により、その特徴の把握を行った。

##### イ. 高等植物に係る重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況

生育が確認された高等植物に係る種及び分布が確認された群落の内、表 8-4-2-2 に示す基準に該当するものを高等植物に係る重要な種及び群落として選定した。なお、重要な種の選定にあたっては、必要に応じて専門家の指導・助言を受け、選定した。

表 8-4-2-2 高等植物に係る重要な種及び群落の選定基準

番号	文献及び法令名	区分
①	文化財保護法（昭和 25 年、法律第 214 号）	特天：特別天然記念物 天：天然記念物
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成 4 年、法律第 75 号）	国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
③	岐阜県文化財保護条例（昭和 29 年、岐阜県条例第 37 号）	県天：県指定天然記念物
④	岐阜県希少野生動植物種保護条例（平成 15 年、岐阜県条例第 22 号）	○：指定希少野生動植物
⑤	中津川市文化財保護条例（昭和 51 年、中津川市条例第 42 号） 恵那市文化財保護条例（平成 16 年、恵那市条例第 215 号） 瑞浪市文化財保護条例（昭和 51 年、瑞浪市条例第 39 号） 御嵩町文化財保護に関する条例（昭和 51 年、御嵩町条例第 9 号） 可児市文化財保護に関する条例（昭和 30 年、可児市条例第 27 号） 多治見市文化財保護条例（昭和 52 年、多治見市条例第 29 号）	市天：市指定天然記念物 町天：町指定天然記念物
⑥	御嵩町希少野生生物保護条例（平成 18 年、御嵩町条例第 17 号）	○：指定希少野生生物
⑦	環境省第 4 次レッドリスト 植物 I（維管束植物）（平成 24 年、環境省）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧 I A 類 EN：絶滅危惧 I B 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
⑧	岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物－岐阜県レッドデータブック－2001（平成 13 年、岐阜県）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧 I 類 VU：絶滅危惧 II 類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足
⑨	御嵩町版レッドデータブック：御嵩町の絶滅のおそれのある野生生物 2007（鳥類、蝶類、植物、魚類・貝類編）（平成 19 年、御嵩町）	○：掲載種
⑩	植物群落レッドデータ・ブック（平成 8 年、我が国における保護上重要な植物種及び植物群落研究委員会植物群落分科会）	1：要注意 2：破壊の危惧 3：対策必要 4：緊急に対策必要
⑪	自然環境保全法（昭和 47 年、法律第 85 号） 岐阜県自然環境保全条例（昭和 47 年、岐阜県条例第 17 号） 第 2 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）（昭和 55 年、環境庁） 第 3 回自然環境保全基礎調査 日本の重要な植物群落 II 東海版（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）（昭和 63 年、環境庁） 第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書（平成 12 年、環境庁）	指定：指定されている特定植物群落
⑫	専門家の助言により選定した種	○：指摘種

### 3) 調査地域

対象事業実施区域及びその周囲の内、山岳トンネル、非常口（山岳部）、地表式又は掘割式、高架橋・橋梁、地上駅、車両基地、換気施設、変電施設を対象に工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）又は鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在に係る植物への影響が生じるおそれがあると認められる地域とした。

#### 4) 調査地点

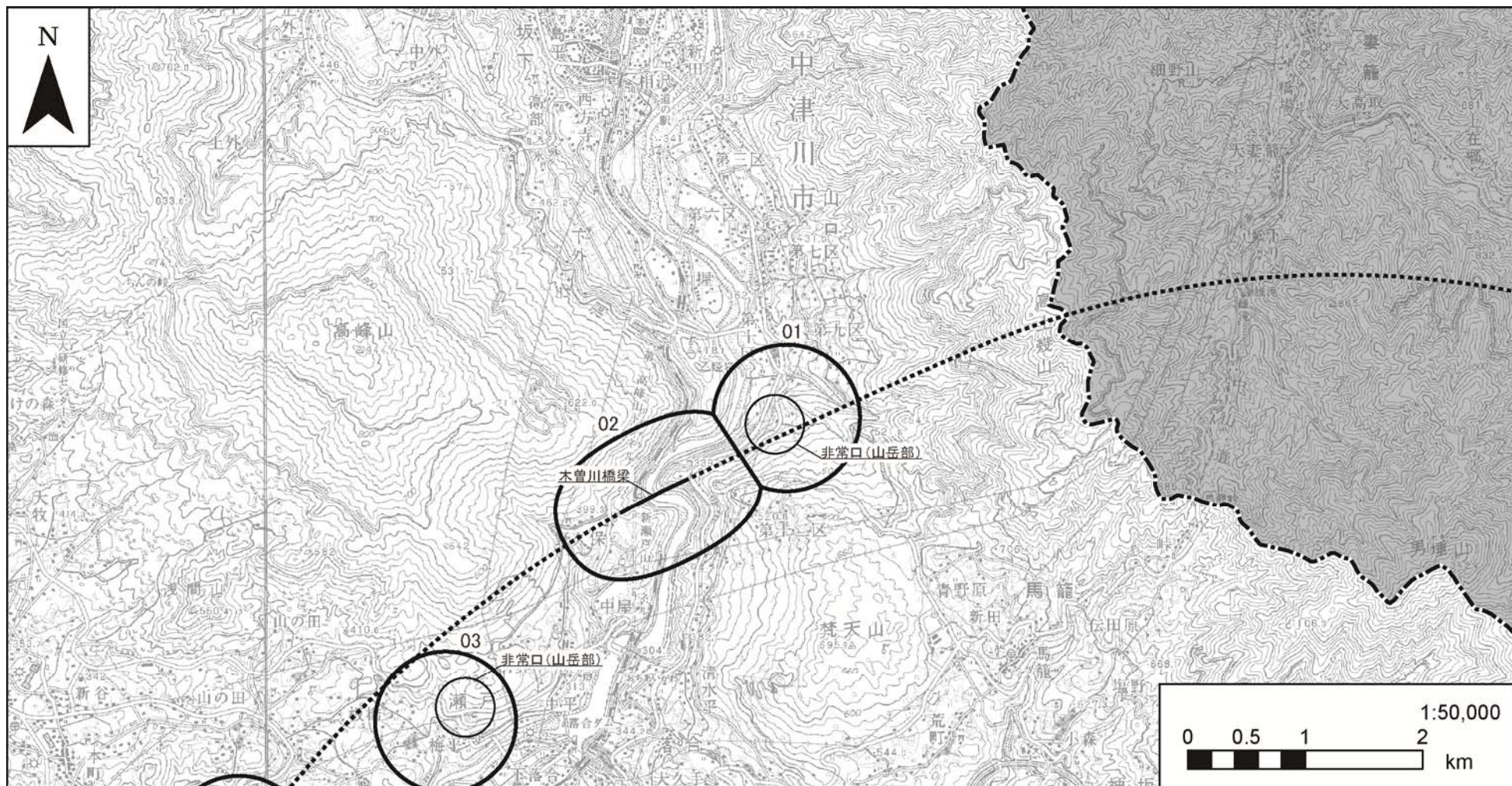
高等植物は、調査地域の内、自然環境の状況及び利用状況等を考慮し、植物の生育環境を適切に把握することができる範囲とした。調査範囲は、土地改変区域から概ね 600m の範囲に設定した。

調査範囲を、表 8-4-2-3 及び図 8-4-2-1 に示す。

表 8-4-2-3 調査地域の概要

地域番号	市町村名	地域名称	鉄道施設
01	中津川市	山口地区	山岳トンネル、非常口（山岳部）
02		山口・瀬戸地区	山岳トンネル、地表式又は掘割式、橋梁
03		瀬戸地区	非常口（山岳部）
04		瀬戸・駒場地区	山岳トンネル、非常口（山岳部）、橋梁、変電施設
05		千旦林地区	山岳トンネル、高架橋、地上駅、車両基地
06		茄子川地区 <sup>注1</sup>	山岳トンネル、地表式又は掘割式、高架橋、地上駅
07	恵那市	大井町・長島町地区	山岳トンネル、非常口（山岳部）、地表式又は掘割式、橋梁
08		武並町藤地区	山岳トンネル、地表式又は掘割式、高架橋
09	瑞浪市	日吉町地区	非常口（山岳部）
10	御嵩町	美佐野地区	山岳トンネル、高架橋
11	可児市	久々利地区	山岳トンネル、地表式又は掘割式、高架橋
12		大森地区	非常口（山岳部）、換気施設
13	多治見市	西山町・大針町地区	非常口（山岳部）、換気施設、変電施設

注 1. 地域番号 06（中津川市茄子川地区）は、恵那市大井町の一部を含む。

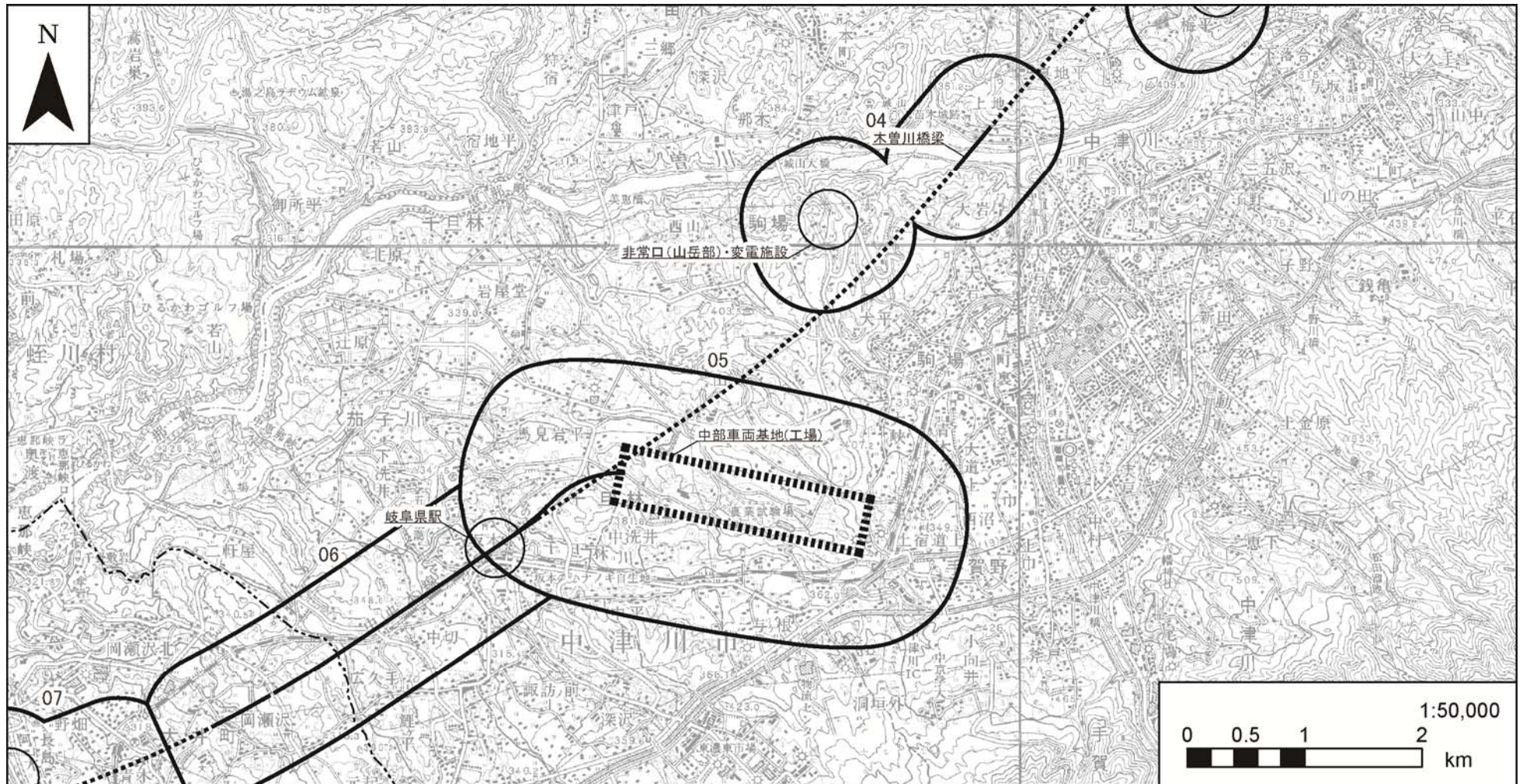


凡例

- ..... 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- - - 市区町村境
- 動植物調査地域



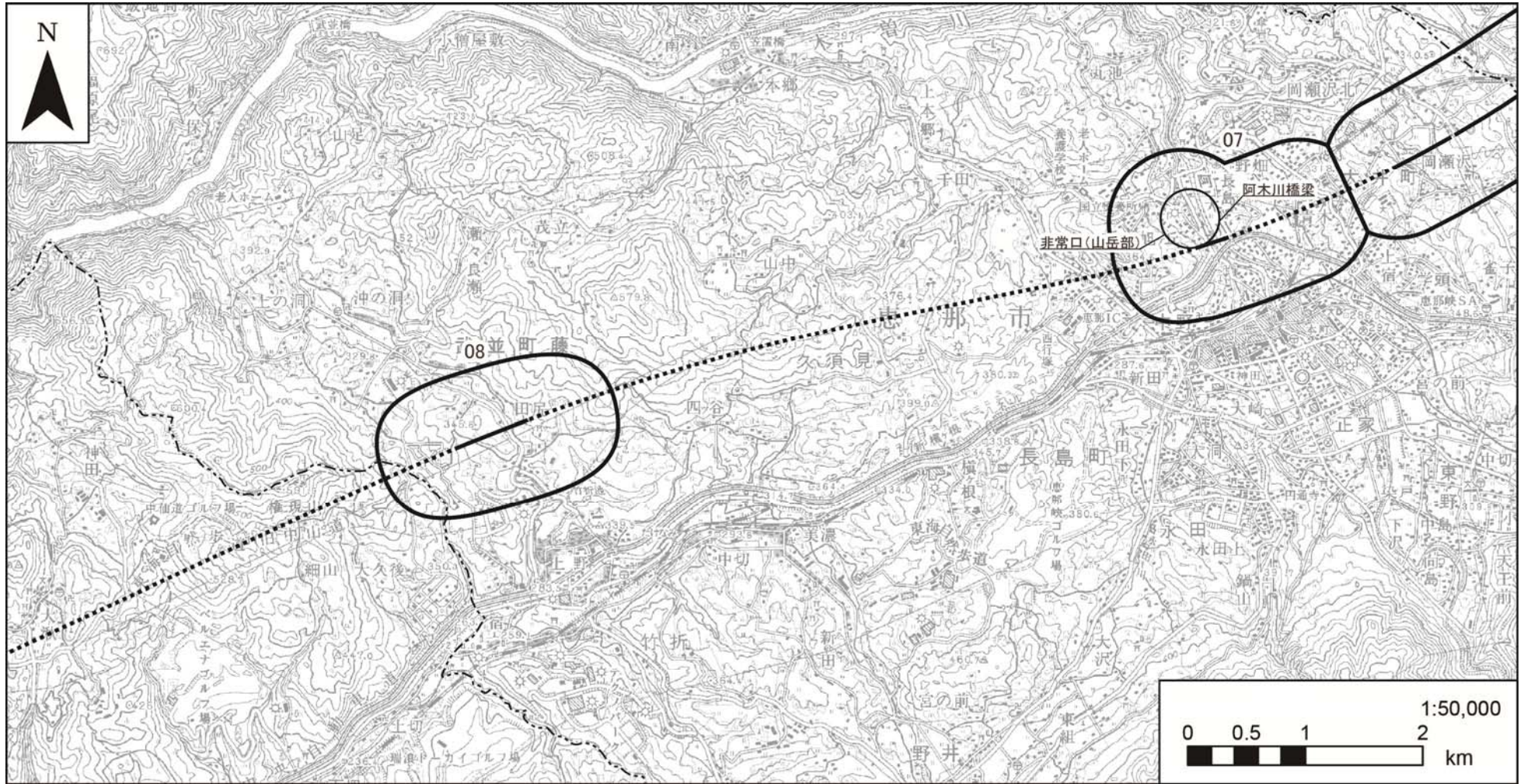
図 8-4-2-1(1) 調査範囲図



凡例

- ..... 計画路線 (トンネル部)      ○ 動植物調査地域
- 計画路線 (地上部)
- - - 県境
- · - · 市区町村境

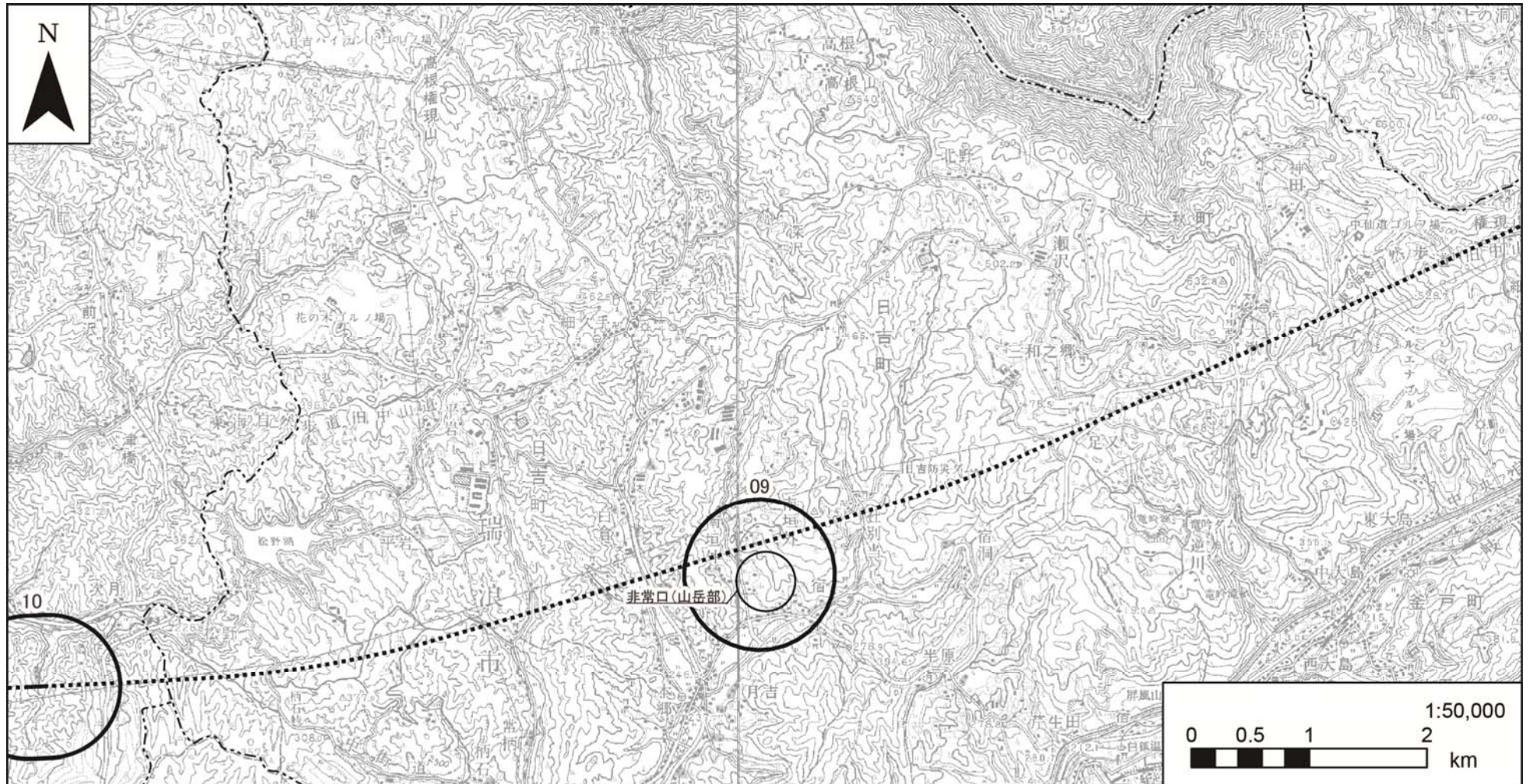
図 8-4-2-1(2) 調査範囲図



凡例

- ..... 計画路線（トンネル部）      ○ 動植物調査地域
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- · - · 市区町村境

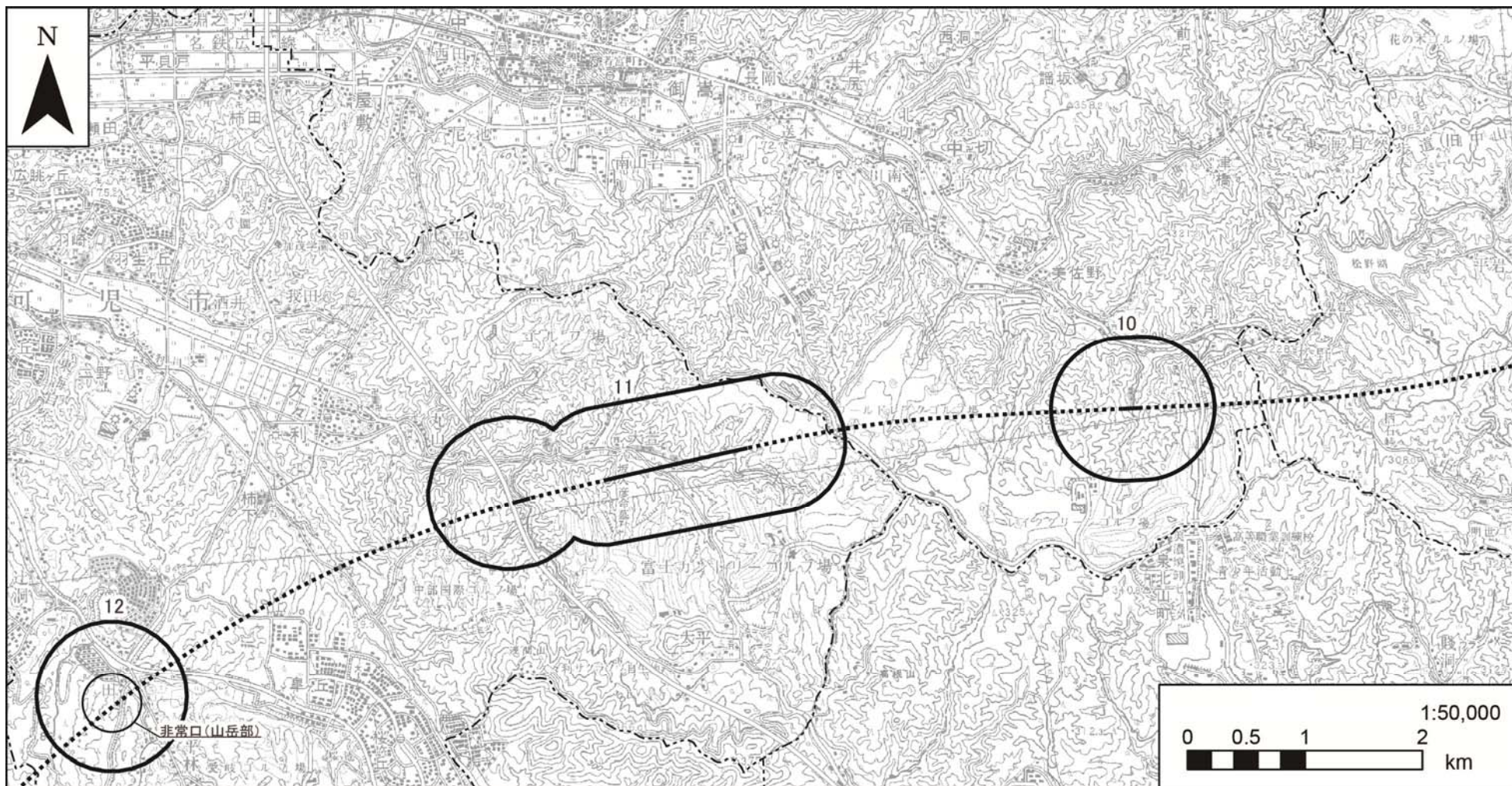
図 8-4-2-1(3) 調査範囲図



凡例

- ..... 計画路線 (トンネル部)      ○ 動植物調査地域
- 計画路線 (地上部)
- - - 県境
- · - · 市区町村境

図 8-4-2-1(4) 調査範囲図

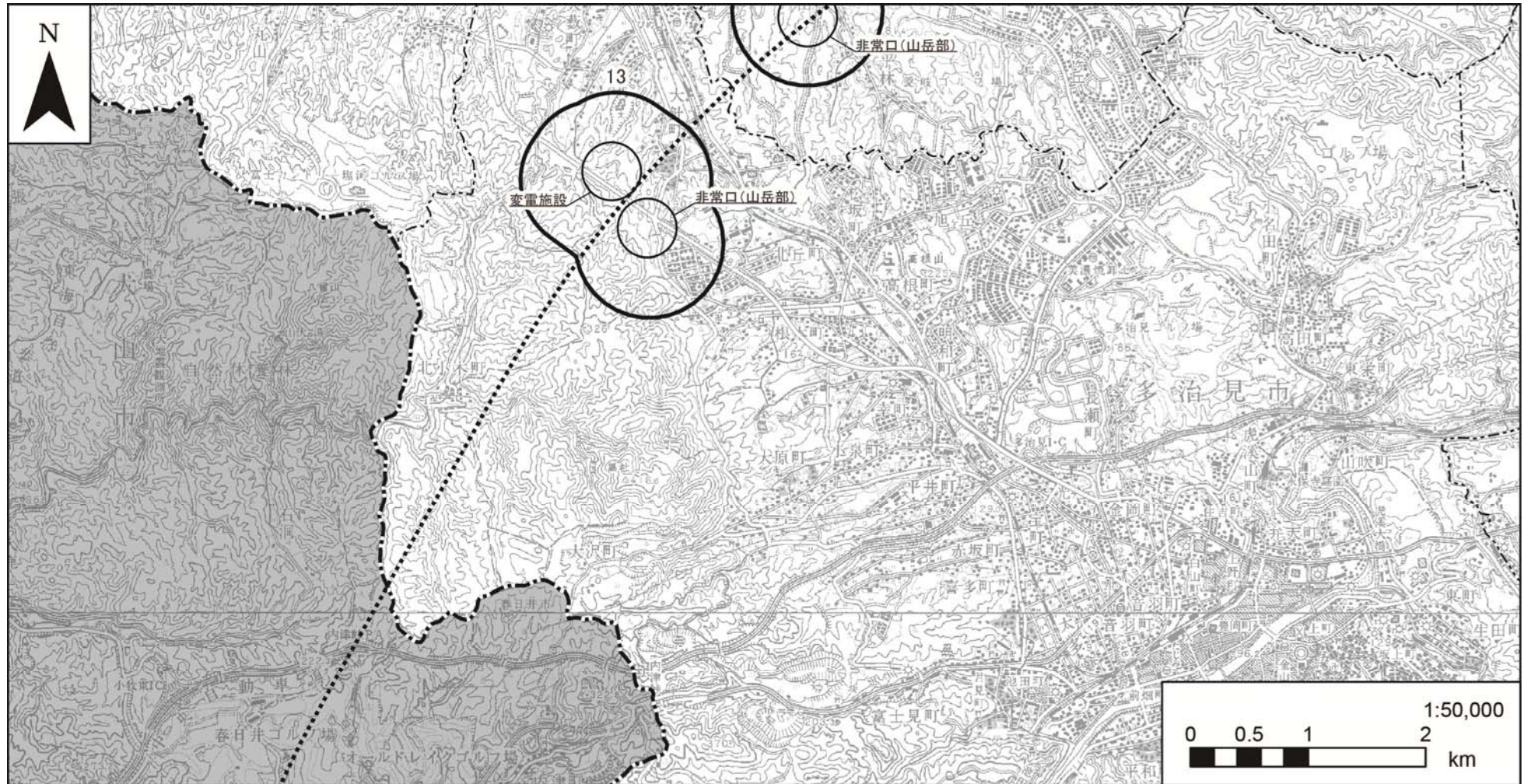


凡例

- ..... 計画路線（トンネル部）
- 計画路線（地上部）
- - - 県境
- · - · 市区町村境
- 動植物調査地域

図 8-4-2-1(5) 調査範囲図





凡例

- ..... 計画路線 (トンネル部)      ○ 動植物調査地域
- 計画路線 (地上部)
- - - 県境
- · - · 市区町村境

図 8-4-2-1(6) 調査範囲図

## 5) 調査期間等

現地調査は、表 8-4-2-4 に示す時期に実施した。

**表 8-4-2-4 調査期間等**

調査項目	調査実施日	
高等植物に係る植物相	早春季	平成 24 年 4 月 3 日～6 日、9 日～13 日 平成 25 年 4 月 2 日、15 日～16 日
	春季	平成 24 年 5 月 7 日～12 日、5 月 28 日～6 月 1 日 平成 25 年 5 月 10 日、15 日
	夏季	平成 24 年 7 月 11 日～14 日、17 日～18 日、27 日～28 日
	秋季	平成 24 年 9 月 24 日～27 日、10 月 1 日～6 日、8 日
高等植物に係る植生	夏季	平成 24 年 8 月 1 日～4 日、6 日～9 日
	秋季	平成 24 年 10 月 9 日～13 日、15 日～16 日、11 月 19 日～22 日

## 6) 調査結果

高等植物に係る植物相及び植生の状況について現地調査の結果を以下に示す。なお、確認地点における改変の可能性のある範囲からの位置関係は、表 8-4-2-5 に基づいて整理した。

**表 8-4-2-5 改変区域と確認位置の距離に関する定義**

用語		定義
範囲内	改変の可能性のある範囲	鉄道施設及び工事施工ヤードが設置され、改変される可能性のある範囲
範囲外	改変の可能性のある範囲の近傍	改変の可能性のある範囲の端部から100mの範囲内
	相当離れた地域	改変の可能性のある範囲の端部から100m以上離れている

ア. 高等植物に係る植物相

7) 高等植物に係る植物相の状況

現地調査において 159 科 1,407 種の高等植物が確認された(「資料編 15-2 植物出現種リスト」参照)。現地調査の結果を表 8-4-2-6 に示す。

表 8-4-2-6 高等植物に係る植物相の現地調査結果

分類			調査時期										
			早春季		春季		夏季		秋季		合計		
			科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	
シダ植物			18	70	20	100	21	99	21	115	21	128	
種子植物	裸子植物		5	11	6	10	6	12	6	11	6	12	
	被子植物	双子葉植物	離弁花類 合弁花類	49	198	71	408	76	452	77	441	79	565
		22		86	28	202	31	248	32	258	33	334	
	単子葉植物		11	66	15	202	19	243	19	245	20	368	
合計			105	431	140	922	153	1,054	155	1,070	159	1,407	

注 1. 分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査 植物目録 1987」(1987 年、環境庁)に準拠した。

調査地域の主な生育環境は、雑木林、植林等の樹林や草地、木曾川水系、庄内川(土岐川)水系に広がる水辺、水田、畑地等の耕作地及び市街地が挙げられる。

現地調査の結果概要を表 8-4-2-7 に示す。

表 8-4-2-7 高等植物に係る植物相現地調査結果の概要

主な生育環境	主な確認種
樹林	コナラ、アベマキ、スギ、ヒノキ、ヒサカキ、イヌツゲ、ヤブツバキ、ベニシダ、ヤマウルシ、コウヤボウキ
草地	チガヤ、ススキ、セイタカアワダチソウ、メルケンカルカヤ、メヒシバ、ヨモギ、クズ、カナムグラ、ヒヨドリバナ、コジキイチゴ
水辺	イヌコリヤナギ、ツルヨシ、オギ、ミゾソバ、イトイヌノヒゲ、ヌマガヤ、イタドリ、セリ、ガマ、イ
耕作地	コナギ、ヒナガヤツリ、ザクロソウ、スベリヒユ、ホトケノザ、ハナイバナ、コシキソウ、タネツケバナ、トキンソウ、ウリクサ
市街地	ソメイヨシノ、コナギ、ヒメムカシヨモギ、セイヨウタンポポ、ヒメジョオン、アレチヌスビトハギ、イヌタデ、エノコログサ、セイタカアワダチソウ、ヨモギ

イ) 高等植物に係る重要な種の確認状況

文献調査及び現地調査により確認された高等植物に係る重要な種は、70 科 206 種であった(「資料編 15-1 文献調査結果」及び「資料編 15-2 植物出現種リスト」参照)。文献及び現地で確認された高等植物に係る重要な種とその選定基準を表 8-4-2-8 に示す。

また、現地で確認された重要な種及び群落の確認地点を表 8-4-2-9 に示す。

表 8-4-2-8 (1) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準									
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	ヒカゲノカズラ	ミズスギ	○									VU		
2		スギラン	○								VU			
3		ヤチスギラン	○	○								VU		
4		マンネンスギ	○	○						○			○	
5	ミズニラ	ミズニラ	○								NT	VU		
6	コバノイシカグマ	ヒメムカゴシダ	○								EN	CR+EN		
7	ミズワラビ	クジャクシダ	○							○			○	
8	チャセンシダ	カミガモシダ	○	○								NT		
9		オクタマシダ	○								VU			
10	シシガシラ	ミヤマシシガシラ	○									NT		
11	メシダ	テバコワラビ	○									VU		
12		イワヤシダ	○									NT		
13		イヨクジャク	○									EN	VU	
14	ウラボシ	クラガリシダ	○									EN	CR+EN	
15	ヒメウラボシ	オオクボシダ	○									NT		
16	デンジソウ	デンジソウ	○									VU	CR+EN	
17	サンショウモ	サンショウモ	○									VU	CR+EN	
18	アカウキクサ	オオアカウキクサ	○									EN		
19	ヤマモモ	ヤマモモ	○										DD	
20	カバノキ	サクラバハンノキ	○	○						○	NT	NT	○	
21		ツノハシバミ	○	○						○				○
22	ブナ	イヌブナ	○	○						○				○
23	タデ	サイコクヌカボ		○								VU		
24		ヤナギヌカボ	○	○								VU	DD	
25		ナガバノウナギツカミ	○									NT		
26		ヌカボタデ	○	○								VU	DD	
27		ノダイオウ	○									VU	VU	
28	ナデシコ	ナンバンハコベ	○	○						○				○
29	モクレン	シデコブシ	○	○						○	NT	VU	○	
30	キンボウゲ	ミスミソウ	○	○						○	NT			○
31		カザグルマ	○	○						○	NT	VU	○	
32		オキナグサ	○					○			VU	CR+EN		
33		ヒキノカサ	○								VU			

表 8-4-2-8 (2) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準										
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
34	キンポウゲ	ノカラマツ	○								VU	DD			
35	メギ	ヘビノボラズ	○	○						○		VU	○		
36	スイレン	ジュンサイ	○							○			○		
37		ヒメコウホネ	○								VU	CR+EN			
38		ヒツジグサ	○	○						○				○	
39	ボタン	ヤマシャクヤク	○								NT	NT			
40	オトギリソウ	アゼオトギリ	○								EN	VU			
41	モウセンゴケ	イシモチソウ	○								NT	VU			
42		コモウセンゴケ	○									VU			
43		トウカイコモウセンゴケ	○	○						○		VU	○		
44	アブラナ	コイヌガラシ	○								NT				
45	ベンケイソウ	イワレンゲ	○								VU	DD			
46		ツメレンゲ	○								NT	NT			
47	ユキノシタ	キバナハナネコノメ	○								NT	NT			
48		ニッコウネコノメソウ	○							○			○		
49		シラヒゲソウ	○	○						○		VU	○		
50		ウメバチソウ	○	○						○				○	
51		ヤワタソウ	○										DD		
52		タコノアシ	○									NT	VU		
53		ヤンチャビシヤク	○									NT	NT		
54		ナメラダイモンジソウ	○							○				○	
55	バラ	ザイフリボク	○	○						○				○	
56		オオウラジロノキ	○	○						○				○	
57		ツチグリ	○									VU	DD		
58		ハスノハイチゴ	○									NT			
59		ミヤマモミジイチゴ	○									NT			
60	マメ	ユクノキ	○	○						○				○	
61		イヌハギ	○	○							VU	VU			
62		マキエハギ	○	○						○				○	
63		ミヤマタニワタシ	○										DD		
64	フクロソウ	タチフウロ	○									DD			
65	トウダイグサ	ノウルシ	○								NT				
66	ヒメハギ	カキノハグサ	○	○						○		DD	○		

表 8-4-2-8 (3) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準											
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
67	ヒメハギ	ヒナノカンザシ	○	○							○			○		
68	カエデ	ホソエカエデ	○										DD			
69		ハナノキ	○	○							○	VU	VU	○		
70	モチノキ	タマミズキ	○	○							○			○		
71	スマレ	アケボノスマレ	○								○			○		
72	ミソハギ	ミズキカシグサ	○									VU	DD			
73		ミズマツバ	○	○								○	VU		○	
74	アリノトウグサ	タチモ	○	○							○	NT		○		
75	セリ	イブキボウフウ	○	○									NT			
76		サワゼリ	○									VU	DD			
77	イチャクソウ	ウメガサソウ	○								○			○		
78		アキノギンリョウソウ	○	○								○			○	
79	ツツジ	サラサドウダン	○								○			○		
80		イワナンテン	○								○		NT	○		
81		ウスギヨウラク	○	○								○			○	
82		ホザキツリガネツツジ	○											NT		
83		ウラジロヨウラク	○									○			○	
84		アズマシャクナゲ	○											DD		
85		レンゲツツジ	○	○									○		○	
86		サクラソウ	クリンソウ	○										VU		
87	モクセイ	ヒトツバタゴ	○	○							○	VU	VU	○		
88	マチン	アイナエ	○	○							○			○		
89	リンドウ	コケリンドウ	○										DD			
90		フデリンドウ	○									○			○	
91		アケボノソウ	○	○								○			○	
92		イヌセンブリ	○	○								○	VU	DD	○	
93		ムラサキセンブリ	○										NT			
94	ミツガシワ	ミツガシワ	○										CR+EN			
95		ガガブタ	○									NT	CR+EN			
96	ガガイモ	クサナギオゴケ	○									VU				
97		タチガシワ	○										DD			
98		スズサイコ	○	○								○	NT		○	
99	アカネ	ハナムグラ	○									VU				

表 8-4-2-8 (4) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準											
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
100	ヒルガオ	マメダオシ	○									CR				
101	ムラサキ	ホタルカズラ	○	○							○			○		
102		ミズタバコ	○	○							○			○		
103	シソ	タチキランソウ	○									NT				
104		ジュウニヒトエ	○	○							○			○		
105		ミズトラノオ	○	○								VU	DD			
106		ヤマジソ	○									NT				
107		セキヤノアキチョウジ	○										DD			
108		キソキバナアキギリ	○	○								○			○	
109		ミゾコウジュ	○										NT	NT		
110		ゴマノハグサ	ミヤマママコナ	○								○			○	
111	スズメハコベ		○	○							○	VU	DD	○		
112	ミカワシオガマ		○	○				○			○	VU	CR+EN	○		
113	ゴマノハグサ		○									VU				
114	オオヒキヨモギ		○	○								○	VU	DD	○	
115	イヌノフグリ		○										VU	VU		
116	カワヂシャ		○										NT			
117	イワタバコ	イワタバコ	○	○							○			○		
118	タヌキモ	タヌキモ	○									NT	DD			
119		ミミカキグサ	○	○								○		NT	○	
120		ホザキノミミカキグサ	○	○								○		NT	○	
121		ヒメタヌキモ	○										NT			
122		イヌタヌキモ	○										NT	NT		
123		ムラサキミミカキグサ	○	○								○	NT	NT	○	
124		オミナエシ	コキンレイカ	○										NT		
125	カノコソウ		○										NT			
126	マツムシソウ	マツムシソウ	○	○							○			○		
127	キキョウ	ツルギキョウ	○									VU				
128		バアソブ	○									VU				
129		キキョウ	○	○								○	VU	NT	○	
130	キク	オクモミジハグマ	○	○							○			○		
131		イワヨモギ	○									VU				
132		リョウノウアザミ	○										NT			

表 8-4-2-8 (5) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準											
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
133	キク	ヒダアザミ	○	○								VU	NT			
134		ヒゴタイ	○									VU	DD			
135		ムカシヨモギ	○										DD			
136		フジバカマ	○									NT	VU			
137		アキノハハコグサ	○									EN				
138		スイラン	○	○							○				○	
139		ミズギク	○										DD			
140		カセンソウ	○										NT			
141		タカサゴソウ	○									VU	DD			
142		カワラニガナ	○									NT				
143		ヤマタバコ	○									CR	DD			
144		サワギク	○	○							○				○	
145		サワオグルマ	○								○				○	
146		オナモミ	○									VU				
147		オモダカ	アギナシ	○	○						○	NT	NT	○		
148		トチカガミ	スブタ	○								VU	VU			
149	ヤナギスブタ		○							○		VU	○			
150	トチカガミ		○									NT	VU			
151	ミズオオバコ		○									VU				
152	ヒルムシロ	コバノヒルムシロ	○								VU	DD				
153	イバラモ	ホッサモ	○									VU				
154	ユリ	ソクシンラン	○							○				○		
155		キイトラッキョウ	○									VU	VU			
156		カタクリ	○	○							○				○	
157		サクライソウ	○					○				EN	CR+EN			
158		イワショウブ	○	○							○				○	
159		ホトトギス	○	○							○				○	
160		アマナ	○								○				○	
161		ミカワバイケイソウ	○	○							○	VU	VU	○		
162	ヒガンバナ	キツネノカミソリ	○							○				○		
163	アヤメ	ノハナショウブ	○	○						○				○		
164		ヒメジャガ	○									NT	VU			
165		カキツバタ	○									NT	VU			



表 8-4-2-8 (6) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準									
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
166	ホシクサ	クロイヌノヒゲ	○									NT		
167		ツクシクロイヌノヒゲ		○								VU		
168		シラタマホシクサ	○	○							○	VU	VU	○
169		クロホシクサ	○	○								VU		
170	イネ	ヒメコヌカグサ	○	○								NT		
171		ヒナザサ	○	○								NT		
172		ウンヌケモドキ	○	○								NT	VU	
173		ウンヌケ	○	○								VU	VU	
174	サトイモ	ウラシマソウ		○									NT	
175		ヒメザゼンソウ	○										NT	
176	ミクリ	ナガエミクリ	○									NT	VU	
177		ヒメミクリ		○									VU	
178	カヤツリグサ	サヤマスゲ	○									VU		
179	ラン	ヒナラン	○									EN		
180		イワチドリ	○									EN	VU	
181		マメヅタラン	○									NT	VU	
182		ムギラン	○	○								NT	NT	
183		エビネ	○	○							○	NT	VU	○
184		ナツエビネ	○									VU	NT	
185		ギンラン	○	○							○			○
186		キンラン	○	○							○	VU	NT	○
187		クマガイソウ	○						○			VU	CR+EN	
188		アツモリソウ	○				国内					VU		
189		セッコク	○	○					○		○		CR+EN	○
190		サワラン	○								○		DD	○
191		ミヤマウズラ	○	○							○			○
192		サギソウ	○	○							○	NT	VU	○
193		ミズトンボ	○									VU	VU	
194		ムヨウラン	○								○			○
-			<i>Lecanorchis</i> 属		○							注2		
195		ジガバチソウ	○	○							○			○
196		クモキリソウ	○	○							○			○
197		ヨウラクラン	○	○							○		NT	○

表 8-4-2-8 (7) 高等植物に係る重要な種確認一覧

No.	科名	種名	確認状況		選定基準									
			文献	現地	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
198	ラン	ヒナチドリ	○								VU			
199		カモメラン	○								NT	DD		
200		ウチョウラン	○					○			VU	CR+EN		
201		コケイラン	○	○						○			○	
202		トキソウ	○							○	NT	VU	○	
203		マツラン	○								VU			
204		モミラン	○								VU			
205		カヤラン	○	○						○		NT	○	
206		クモラン	○							○			○	
計		70 科	206 種	202 種	84 種	0 種	1 種	0 種	6 種	0 種	86 種	114 種	112 種	86 種

注 1. 分類、配列等は、原則として「自然環境保全基礎調査 植物目録 1987」(1987 年、環境庁)に準拠した。

注 2. *Lecanorchis* 属は、「御嵩町版レッドデータブック：御嵩町の絶滅のおそれのある野生生物 2007 (鳥類、蝶類、植物、魚類・貝類編)」(平成 19 年、御嵩町)において、「ムヨウラン」が「掲載種」に該当する。  
また、「御嵩町希少野生生物保護条例」(平成 18 年、御嵩町条例第 17 号)において、「ムヨウラン」が「指定希少野生植物」に該当する。

注 3. 高等植物に係る重要な種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号)

国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種

③ 「岐阜県文化財保護条例」(昭和 29 年、岐阜県条例第 37 号)

県天：県指定天然記念物

④ 「岐阜県希少野生動植物種保護条例」(平成 15 年、岐阜県条例第 22 号)

○：指定希少野生動植物

⑤ 「中津川市文化財保護条例」(昭和 51 年、中津川市条例第 42 号)

「恵那市文化財保護条例」(平成 16 年、恵那市条例第 215 号)

「瑞浪市文化財保護条例」(昭和 51 年、瑞浪市条例第 39 号)

「御嵩町文化財保護に関する条例」(昭和 51 年、御嵩町条例第 9 号)

「可児市文化財保護に関する条例」(昭和 30 年、可児市条例第 27 号)

「多治見市文化財保護条例」(昭和 52 年、多治見市条例第 29 号)

市天：市指定天然記念物、町天：町指定天然記念物

⑥ 「御嵩町希少野生生物保護条例」(平成 18 年、御嵩町条例第 17 号)

○：指定希少野生生物

⑦ 「環境省第 4 次レッドリスト 植物 I (維管束植物)」(平成 24 年、環境省)

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

⑧ 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物—岐阜県レッドデータブック」(平成 13 年、岐阜県)

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足

⑨ 「御嵩町版レッドデータブック：御嵩町の絶滅のおそれのある野生生物 2007 (鳥類、蝶類、植物、魚類・貝類編)」(平成 19 年、御嵩町)

○：掲載種

⑩ 専門家の助言により選定した種

○：指摘種

表 8-4-2-9(1) 現地調査で確認された重要な種の確認位置

番号	種名	確認種の生育環境	確認位置		
			変更の可能性のある範囲	変更の可能性のある範囲の近傍	相当離れた地域
1	ヤチスギラン	貧栄養湿地			○
2	カミガモシダ	山地の岩上、林床			○
3	サクラバハシノキ	湿地	○	○	○
4	イヌブナ	やや乾燥した山地			○
5	サイコクヌカボ	河川敷、低湿地			○
6	ヤナギヌカボ	水路等岸边			○
7	ヌカボタデ	河川敷等水辺			○
8	シデコブシ	湿地	○	○	○
9	ミスミソウ	落葉広葉樹林の林床			○
10	カザグルマ	湿地等の林縁	○	○	○
11	ヘビノボラズ	湿地等の林縁	○	○	○
12	トウカイコモウセンゴケ	貧栄養湿地		○	○
13	シラヒゲソウ	山地谷沿いの湿地			○
14	ザイフリボク	雑木林の林縁	○	○	○
15	ユクノキ	山地			○
16	イヌハギ	河原等の砂地			○
17	カキノハグサ	山地の林内	○		○
18	ハナノキ	川岸等湿った所	○	○	○
19	ミズマツバ	水田、湿地	○	○	○
20	タチモ	貧栄養の湖沼、ため池		○	○
21	イブキボウフウ	草地	○	○	○
22	ウスギヨウラク	山地の林縁、岩陰		○	○
23	レンゲツツジ	草原、林縁			○
24	ヒトツバタゴ	やや湿った林内		○	○
25	イヌセンブリ	湿地			○
26	スズサイコ	日当たりのよい草地	○	○	○
27	ミズトラノオ	湿地	○		
28	スズメハコベ	湿地			○
29	ミカワシオガマ	日当たりの良い湿地、林縁			○
30	オオヒキヨモギ	乾燥した草地			○
31	イワタバコ	湧水のある日陰の岩場		○	○
32	ミミカキグサ	湿地	○	○	○
33	ホザキノミミカキグサ	湿地	○		○
34	ムラサキミミカキグサ	湿地			○
35	キキョウ	日当たりのよい草地	○	○	○
36	ヒダアザミ	落葉広葉樹林の林床			○
37	サワギク	やや湿り気のある林内			○
38	アギナシ	湖沼、ため池、水田、湿地等			○
39	ホトトギス	山地の崖等やや湿った所			○
40	ミカワバイケイソウ	低山帯の湿原		○	○
41	ツクシクロイヌノヒゲ	干上がったため池の岸			○
42	シラタマホシクサ	湿地			○
43	クロホシクサ	湿地	○		
44	ヒメコヌカグサ	山の水湿地	○	○	○
45	ヒナザサ	山野の水辺、湿地			○
46	ウンヌケモドキ	山地草原			○
47	ウンヌケ	低山草原			○
48	ウラシマソウ	山野の木陰			○

表 8-4-2-9(2) 現地調査で確認された重要な種の確認位置

番号	種名	確認種の生育環境	確認位置		
			改変の可能性のある範囲	改変の可能性のある範囲の近傍	相当離れた地域
49	ヒメミクリ	湖沼、ため池、湿原等		○	○
50	ムギラン	常緑樹林内の樹幹や岩上に着生		○	○
51	エビネ	山野の落葉樹林内			○
52	キンラン	落葉樹林内	○	○	○
53	セッコク	樹上、岩上に着生			○
54	ミヤマウズラ	山地の林内		○	○
55	サギソウ	日当たりのよい湿原			○
56	ジガバチソウ	クリ帯からブナ帯の疎林の林床			○
57	クモキリソウ	林内	○	○	○
58	ヨウラクラン	樹幹、岩上に着生			○
59	カヤラン	樹幹に着生			○

注 1. 「御嵩町版レッドデータブック：御嵩町の絶滅のおそれのある野生生物 2007（鳥類、蝶類、植物、魚類・貝類編）」（平成 19 年、御嵩町）及び「御嵩町希少野生生物保護条例」（平成 18 年、御嵩町条例第 17 号）の指定希少野生生物は、御嵩町で確認されていない場合は対象外とした（対象外とした種：マンネンスギ、ツノハシバミ、ナンバンハコベ、ヒツジグサ、ウメバチソウ、オオウラジロノキ、マキエハギ、ヒナノカンザシ、タマミズキ、アキノギンリョウソウ、アイナエ、アケボノソウ、ホタルカズラ、ミズタバコ、ジュウニヒトエ、キソキバナアキギリ、マツムシソウ、オクモミジハグマ、スイラン、カタクリ、イワショウブ、ノハナショウブ、ギンラン、*Lecanorchis* 属、コケイラン）。

## イ. 高等植物に係る植生

### 7) 高等植物に係る植生の状況

現地調査において、合計 32 の高等植物に係る群落及び 8 つの土地利用が確認された。

現地調査の結果概要を、表 8-4-2-10 及び図 8-4-2-2 に示す。

表 8-4-2-10 (1) 高等植物に係る群落及び土地利用の概要

No.	群落名	概要
1	カナメモチ - コジイ群集	ツブラジイ (コジイ) が優占する群落である。高木層には、ツブラジイの他、ツクバネガシ、ウラジログシ、コナラ等が生育する。亜高木層には、ツブラジイ、アラカシ、リョウブ等が生育し、低木層には、サカキ、アラカシ、ヤブツバキ、ヒサカキ等が生育する。草本層には、上層木の幼木の他、ベニシダ、ツルアリドオシ、シュンラン等が生育する。
2	シキミ - モミ群集	モミが優占する群落である。高木層には、モミの他、コナラ、アベマキ、シラカシ等が生育する。亜高木層には、植栽に由来するスギ、ヒノキの他、アラカシ、リョウブ等が生育し、低木層には、シロモジ、ヤブツバキ、モミ等が生育する。草本層には、ネザサ、チゴユリ、ジャノヒゲ等が生育する。
3	ケヤキ群落	ケヤキが優占する群落である。高木層には、ケヤキ、エノキ、ホオノキが生育し、亜高木層、低木層にはケヤキ、ヤマザクラ、アラカシ、カヤ、イボタノキ等が生育する。草本層はテイカカズラ、ナガバジャノヒゲ、ベニシダ等が生育する。
4	ハンノキ群落	ハンノキが優占する群落である。高木層には、ハンノキの他、つる性植物のフジ、ツタが生育する。亜高木層には、ハンノキ、エゴノキ、ウワミズザクラが生育し、低木層には、イヌツゲ、ノリウツギ、ヤブデマリ、エノキ等が生育する。草本層には、ドクダミ、ヌマトラノオ、ハリガネワラビ、ゼンマイ等が生育する。
5	ヤナギ高木群落	水路沿いに成立するオオタチヤナギが優占する群落である。高木層には、オオタチヤナギのみが生育する。亜高木層を欠き、低木層にはエゴノキ、クリ等の広葉樹やヤマノイモ、アケビ、ツタ等のつる性植物が生育する。草本層には、オニドコロ、ヤブマメ等のつる性植物の他、コチヂミザサ、ミゾソバ、ネザサ等が生育する。
6	ネコヤナギ群落	河川敷に成立するネコヤナギが優占する低木群落である。高木層、亜高木層を欠き、低木層には、ネコヤナギが生育する。草本層には、チガヤ、ススキ、ツルヨシ等のイネ科植物の他、セイタカアワダチソウ、クズ等が生育する。
7	タチヤナギ群集	ため池の周辺部に成立するタチヤナギが優占する低木群落である。高木層、亜高木層を欠き、低木層には、タチヤナギが生育する。草本層には、ヤナギタデ、ヌマガヤ、アゼガヤツリ、セリ等が生育する。
8	カワラハンノキ群落	河川敷に成立するカワラハンノキが優占する低木群落である。高木層、亜高木層を欠き、低木層には、カワラハンノキの他、ヒサカキ、ネムノキが生育する。草本層には、カワラハンノキ、ネコヤナギ、ノイバラ、アオツヅラフジ等が生育する。
9	アラカシ二次林	アラカシが優占する群落である。高木層には、アラカシの他、コナラ、ホオノキ等が生育する。亜高木層には、アラカシ、リョウブ、カキノキ等が生育し、低木層には、アラカシ、ヤブツバキ、サカキ等が生育する。草本層には、上層木の幼木の他、マルバベニシダ、シャシャンボ等が疎生する。
10	コナラ - アベマキ群落	主にコナラもしくはアベマキが優占する群落である。高木層には、コナラ、アベマキの他、ホオノキ、カスミザクラ、アカマツ等が生育する。亜高木層には、リョウブ、ソヨゴ、アズキナシ、アラカシ等が生育し、低木層には、ヒサカキ、アセビ、イヌツゲ、ツクバネウツギ等が生育する。草本層には、ネザサ、ジャノヒゲ、コウヤボウキ、チゴユリ等が生育する。

表 8-4-2-10 (2) 高等植物に係る群落及び土地利用の概要

No.	群落名	概要
11	アカメガシワ - カラスザンショウ群落	主にヌルデもしくはアカメガシワが優占する群落である。高木層、低木層には、ヌルデ、アカメガシワの他、ヤマハゼ、ネムノキ、クズ等が生育する。草本層には、セイタカアワダチソウ、ヘクソカズラ、コチヂミザサ等が生育する。
12	アカマツ群落	主にアカマツが優占する群落である。高木層には、アカマツの他、リョウブ、ソヨゴ、コナラ等が生育する。亜高木層には、リョウブ、ソヨゴ、オキアガリネズ等が生育し、低木層には、ヒサカキ、コバノミツバツツジ、ネジキ、ナツハゼ等が生育する。草本層には、サルトリイバラ、ヤマウルシ、モチツツジ、ソヨゴ等が生育する。
13	アカマツ低木群落	主にアカマツもしくはアイグロマツが優占する群落である。低木層には、アカマツ、アイグロマツの他、リョウブ、ソヨゴ、オキアガリネズ等が生育し、草本層には、メリケンカルカヤ、ススキ、ソヨゴ等が生育する。
14	メダケ群落	メダケが優占する低木群落である。高木層、亜高木層を欠き、低木層には、メダケ、ヤブツバキ、ヒサカキ、ヤマノイモが生育する。草本層には、ヒガンバナ、ヤマイタチシダ、ヤブコウジが生育する。
15	ネザサ群落	ネザサもしくはケネザサが優占する群落である。低木層には、ネザサ、ケネザサの他、オニドコロ、クズ、アオツヅラフジ等のつる性植物が生育し、草本層には、ジャノヒゲ、フジ等が疎生する。
16	クズ群落	クズが優占する群落である。クズの他、ノイバラ、セイタカアワダチソウ、カナムグラ等が生育する。
17	ススキ群団	主にススキが優占する群落である。ススキの他、メリケンカルカヤ、ヨモギ、セイタカアワダチソウ、ヒヨドリバナ等が生育する。
18	伐採跡地群落	森林の伐採跡地に成立する草本群落、もしくは植生高 1m 前後の低木群落である。コジキイチゴ、ビロードイチゴ、ダンドボロギク、ヨウシュヤマゴボウ等が生育する。
19	貧栄養地植物群落	貧栄養立地に成立するヌマガヤ群落、イヌノハナヒゲ群集、ミヤコイバラ-ウメモドキ群集を統合した群落である。ヌマガヤ群落では、ヌマガヤが優占する他、タイワンカモノハシ、コイヌノハナヒゲ、サワシロギク、ノギラン等が生育する。イヌノハナヒゲ群集では、イトイヌノハナヒゲ、ミカヅキグサ、ホザキノミミカキグサ、ミミカキグサ、モウセンゴケ等が生育する。ミヤコイバラ-ウメモドキ群集は、植生高は 2~16m と林分によって階層構造が大きく異なっている。低木層以上には、シデコブシ、サクラバハンノキ、ミヤマウメモドキ、クロミノニシゴリ等が特徴的に出現する他、ソヨゴ、イヌツゲ、リョウブ等の二次林要素が生育する。草本層には、ヌマガヤ、ショウジョウバカマ、イヌツゲ、ゼンマイ等が生育する。
20	サワトウガラシ - ニッポンイヌノヒゲ群集	貧栄養の溜池の減水裸地に成立する群落である。サワトウガラシ、ヌメリグサ、ツクシクロイヌノヒゲ、シロイヌノヒゲ、ニッポンイヌノヒゲ等が生育する。
21	ヨシクラス	ため池の周辺部に成立する群落である。ヨシのみが優占する。場所によりマコモが優占しアオウキクサが生育する群落がある。
22	ツルヨシ群集	ツルヨシが優占する群落である。ツルヨシの他、ミゾソバ、メヒシバ、カナムグラ等が生育する。
23	オオオナモミ - トキンソウ群落	富栄養の溜池の減水裸地に成立する群落である。オオオナモミ、トキンソウ、アメリカアゼナ、イヌタデ等が生育する。
24	スギ・ヒノキ・サワラ植林	スギ、もしくはヒノキの植林地である。スギ植林では、高木層にはスギが生育し、亜高木層は欠くかヒノキが生育する。低木層には、アオキ、ヤブツバキ、ヤブムラサキ等が生育し、草本層には、ベニシダ、ドクダミ、ヒカゲイノコズチ、シンミズヒキ等が生育する。ヒノキ植林では、高木層にはヒノキ 1 種が生育し、亜高木層は欠くことが多いが、管理不足の場合には、高木層にコナラ、スギ等が混生し、亜高木層にリョウブ、ソヨゴ等が生育する。低木層には、ヒサカキ、コシアブラ、タカノツメ等が生育し、草本層には、ヒサカキ、ベニシダ、ヤマウルシ等が生育する。

表 8-4-2-10 (3) 高等植物に係る群落及び土地利用の概要

No.	群落名	概要
25	外国産樹種植林	放棄されたクワ畑に成立するシンジュが優占する群落である。高木層、亜高木層には、シンジュが優占する。低木層にはシンジュの他にエノキ、オニグルミが生育する。低木層には、ネザサ、ヒナタイノコズチ、セイタカアワダチソウ等が生育する。
26	ニセアカシア群落	ハリエンジュが優占する群落である。高木層、低木層にはハリエンジュが生育する他、エノキ、マグワ、クズ等が生育する。草本層には、ヤブマメ、ヒカゲイノコズチ、ノイバラ、セイタカアワダチソウ等が生育する。
27	竹林	モウソウチク、マダケ、もしくはハチクが優占する群落である。高木層にはモウソウチク、マダケ、ハチクが生育する他、ヒノキ、スギ等が生育し、多くの林分では亜高木層を欠く。低木層にはヒサカキ、サカキ、アラカシ、アオキ等が生育し、草本層には、ジャノヒゲ、フジ、ベニシダ等が生育する。
28	ゴルフ場・芝地	シバ、コウシュンシバ等が植栽され、頻繁な刈り取りによって維持されている。
29	路傍・空地雑草群落	住宅地、その周辺の空地及び造成地に成立する草本群落である。セイタカアワダチソウ、ヨモギ、アレチヌスビトハギ、メドハギ、キンエノコロ等が生育する。
30	果樹園	栗、柿等が栽培されている樹園地である。
31	茶畑	お茶が栽培される樹園地。
32	畑雑草群落	畑地に成立する雑草群落である。ザクロソウ、メヒシバ、スベリヒユ、ハナイバナ、コニキシソウ等が生育する。
33	水田雑草群落	水田に成立する雑草群落である。コナギ、トキンソウ、タマガヤツリ、アメリカアゼナ、ヒナガヤツリ等が生育する。
34	放棄水田雑草群落	水田の放棄後に成立する。チゴザサ、ヌマトラノオ、ミゾソバ、セリ等が生育する。
35	市街地	道路、住宅地等の人工構造物である。
36	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	土地利用形態の一凡例。墓地、公園等。
37	造成地・グラウンド	建物等を建設するために整備された造成裸地であり、同様に植被のないグラウンドも含めている。
38	開放水域	河川、池沼等で抽水植物及び沈水植物等による植生が成立していない水域・水面である。
39	自然裸地	自然条件により植生が成立していない裸地である。
40	残存・植栽樹群地	ソメイヨシノ、ハナノキ、モミジ等の植栽樹からなる樹群地である。

注 1. 群落名は、原則として「自然環境保全基礎調査（環境省）・統一凡例」に準拠した。

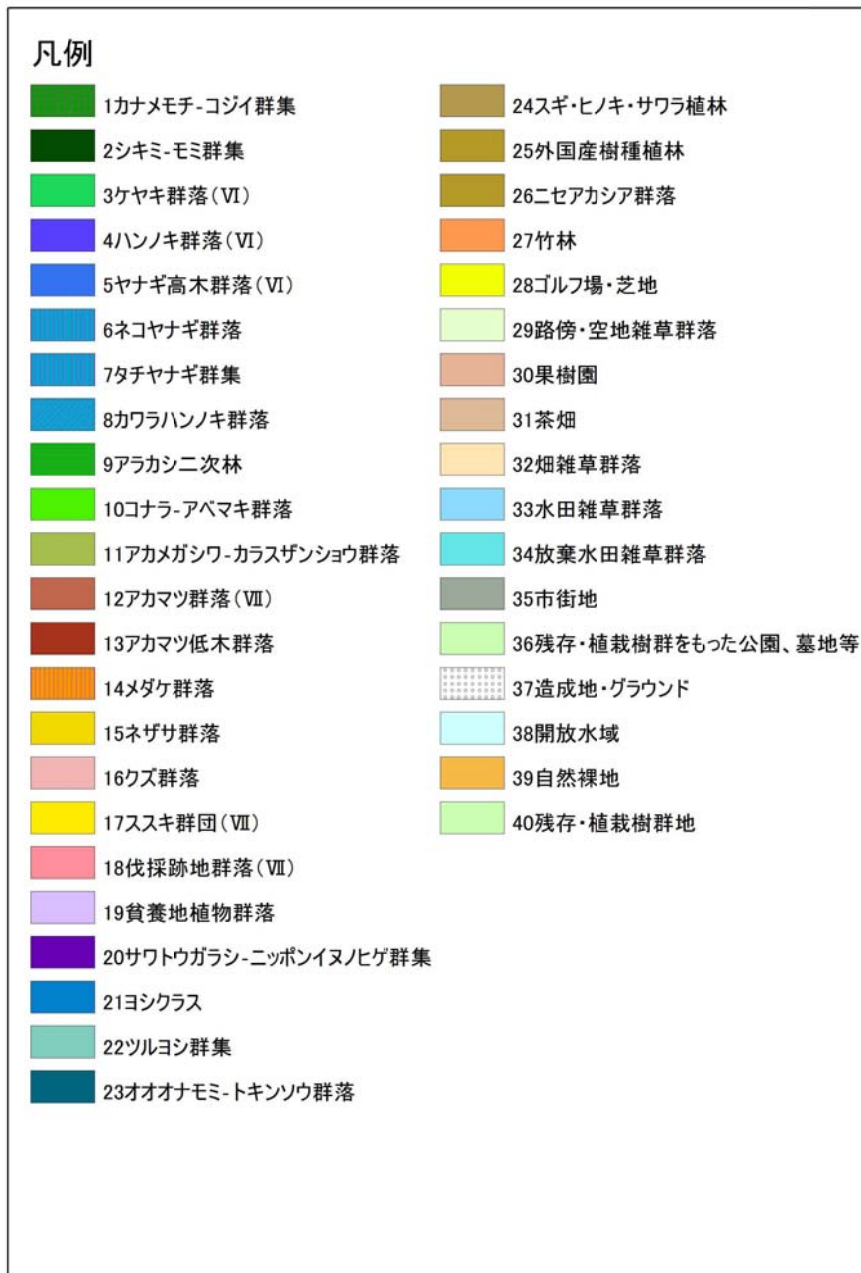
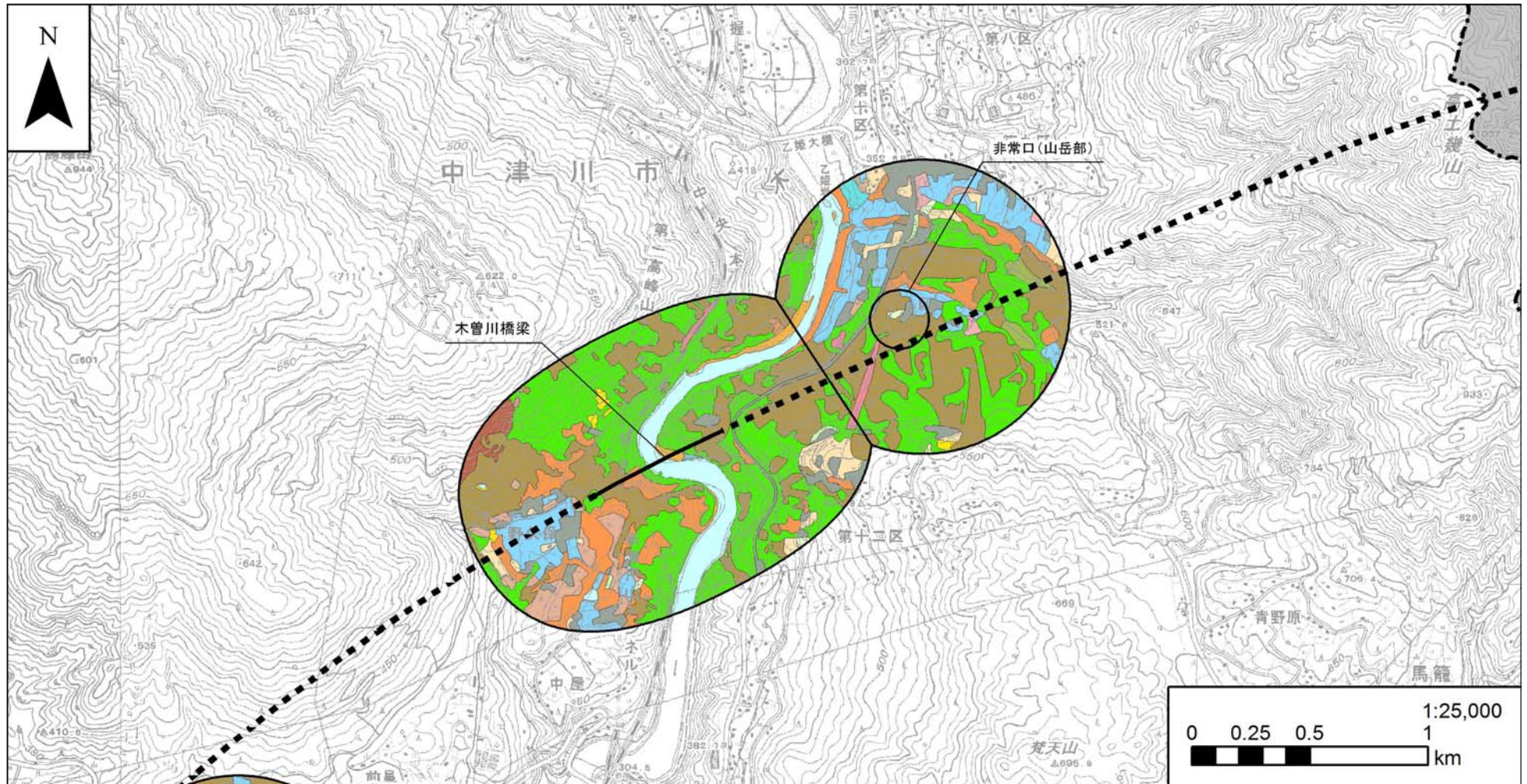


図 8-4-2-2(1) 植生図凡例

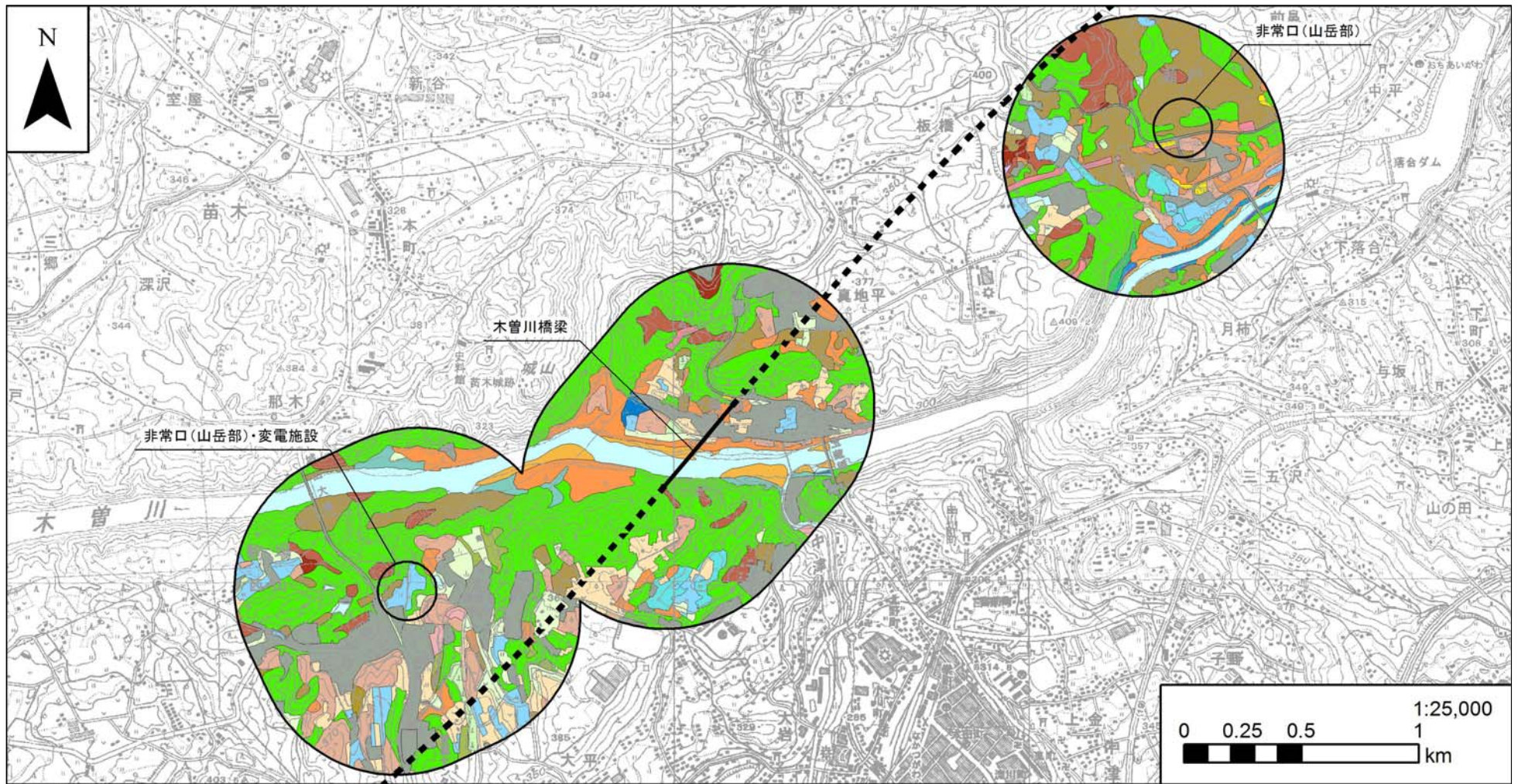




凡例

- 計画路線(トンネル部)    □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- 県境
- - - 市区町村境

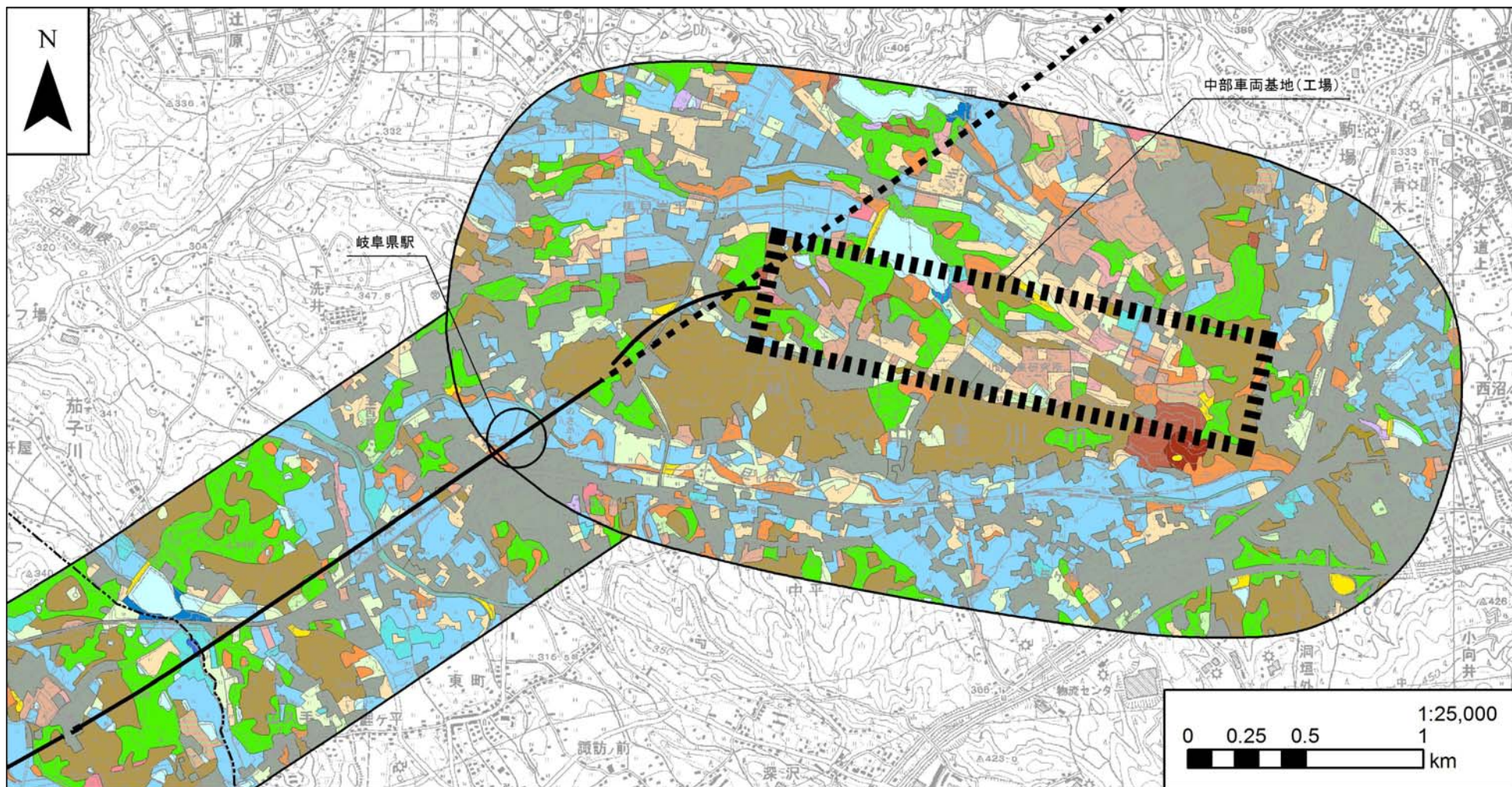
図 8-4-2-2(2) 植生図



凡例

- 計画路線(トンネル部)    □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- - - 県境
- · · 市区町村境

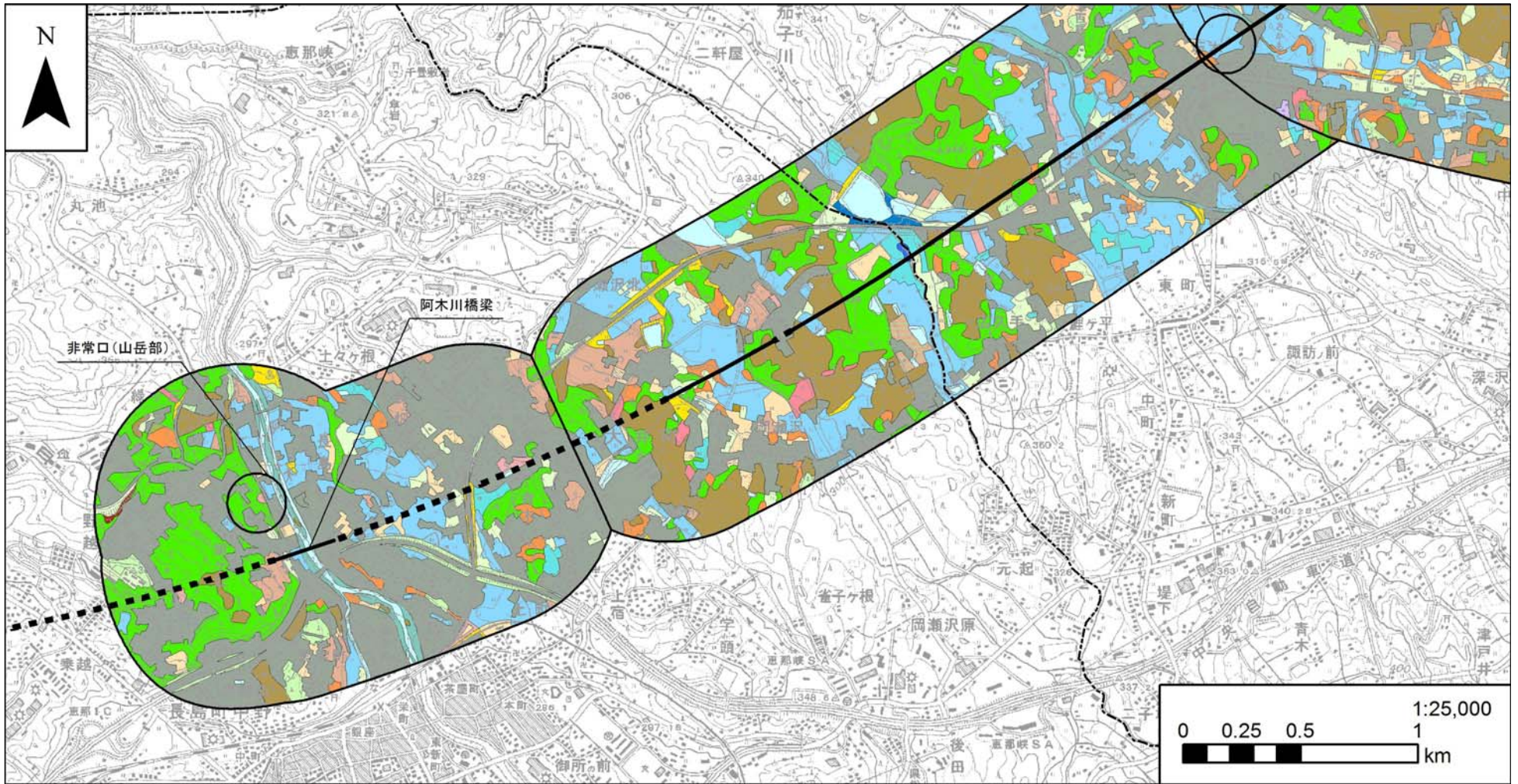
図 8-4-2-2(3) 植生図



凡例

- 計画路線(トンネル部)    □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- - - 県境
- ..... 市区町村境

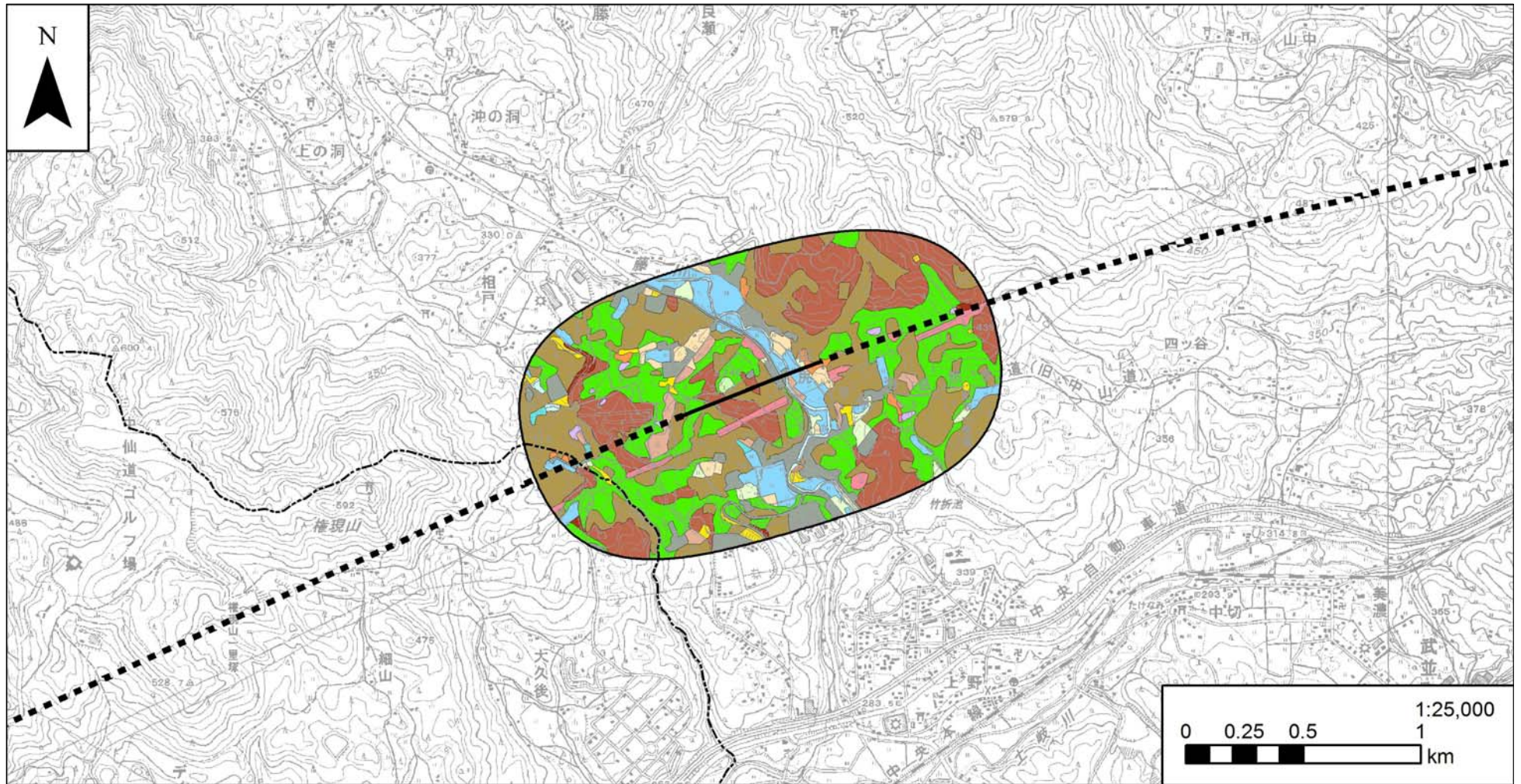
图 8-4-2-2(4) 植生图



凡例

- 計画路線(トンネル部)    □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- - - 県境
- · · 市区町村境

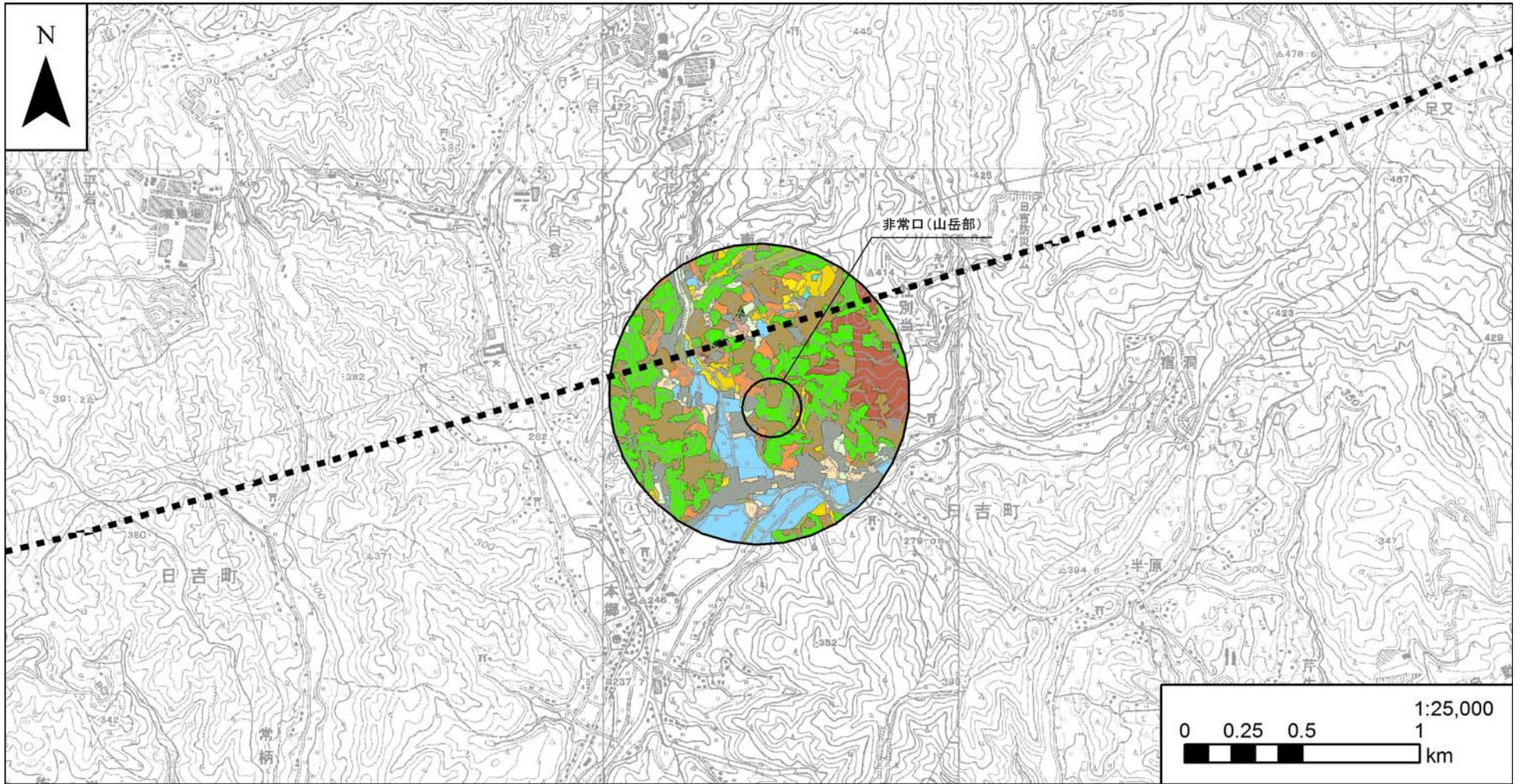
図 8-4-2-2(5) 植生図



凡例

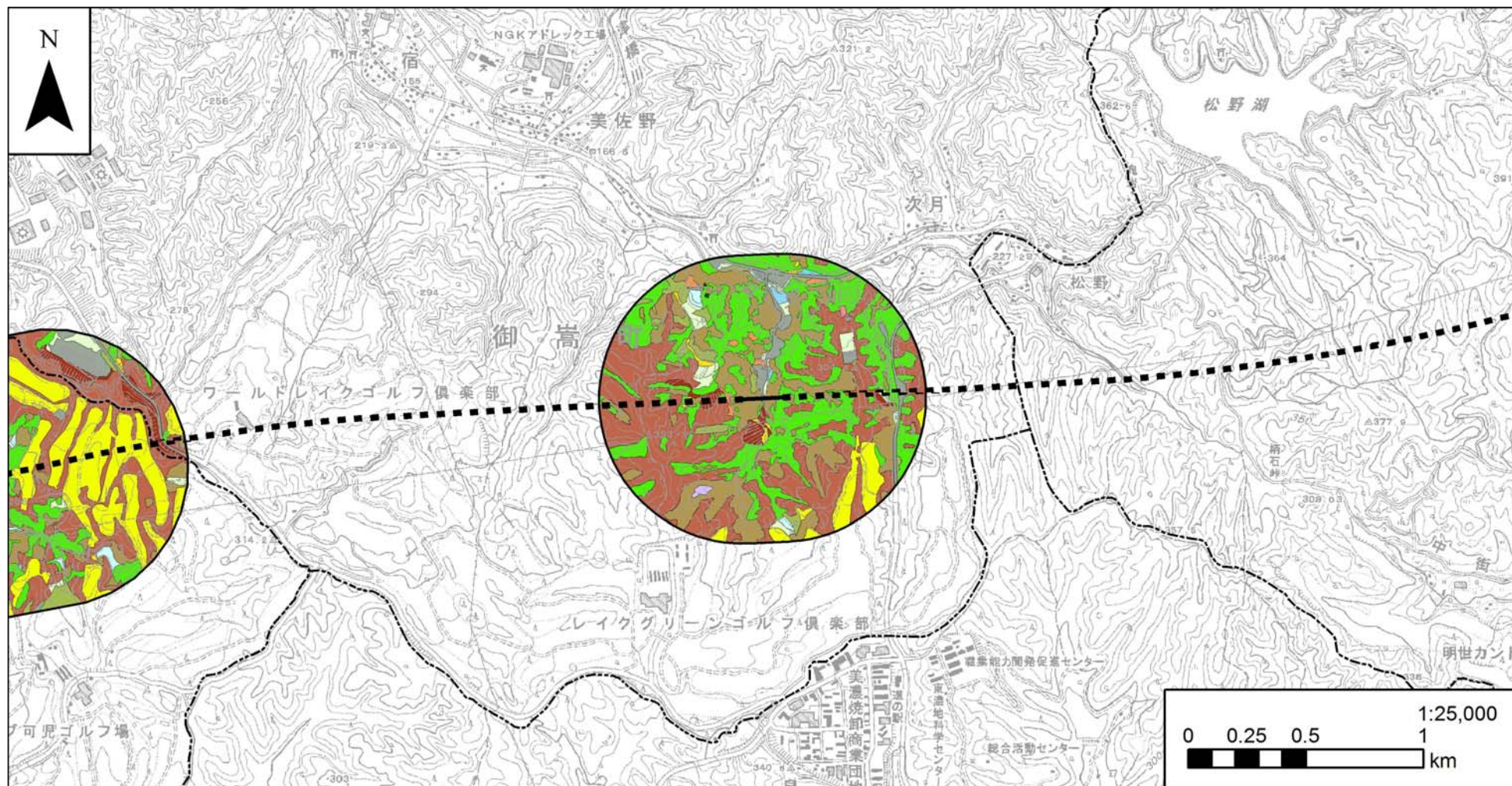
- 計画路線(トンネル部)    □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- - - 県境
- · · 市区町村境

図 8-4-2-2(6) 植生図



- 凡例
- 計画路線(トンネル部)    □ 調査地域
  - 計画路線(地上部)
  - 県境
  - 市区町村境

図 8-4-2-2(7) 植生図



- 凡例
- 計画路線(トンネル部)    □ 調査地域
  - 計画路線(地上部)
  - - - 県境
  - · · 市区町村境

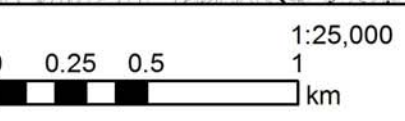
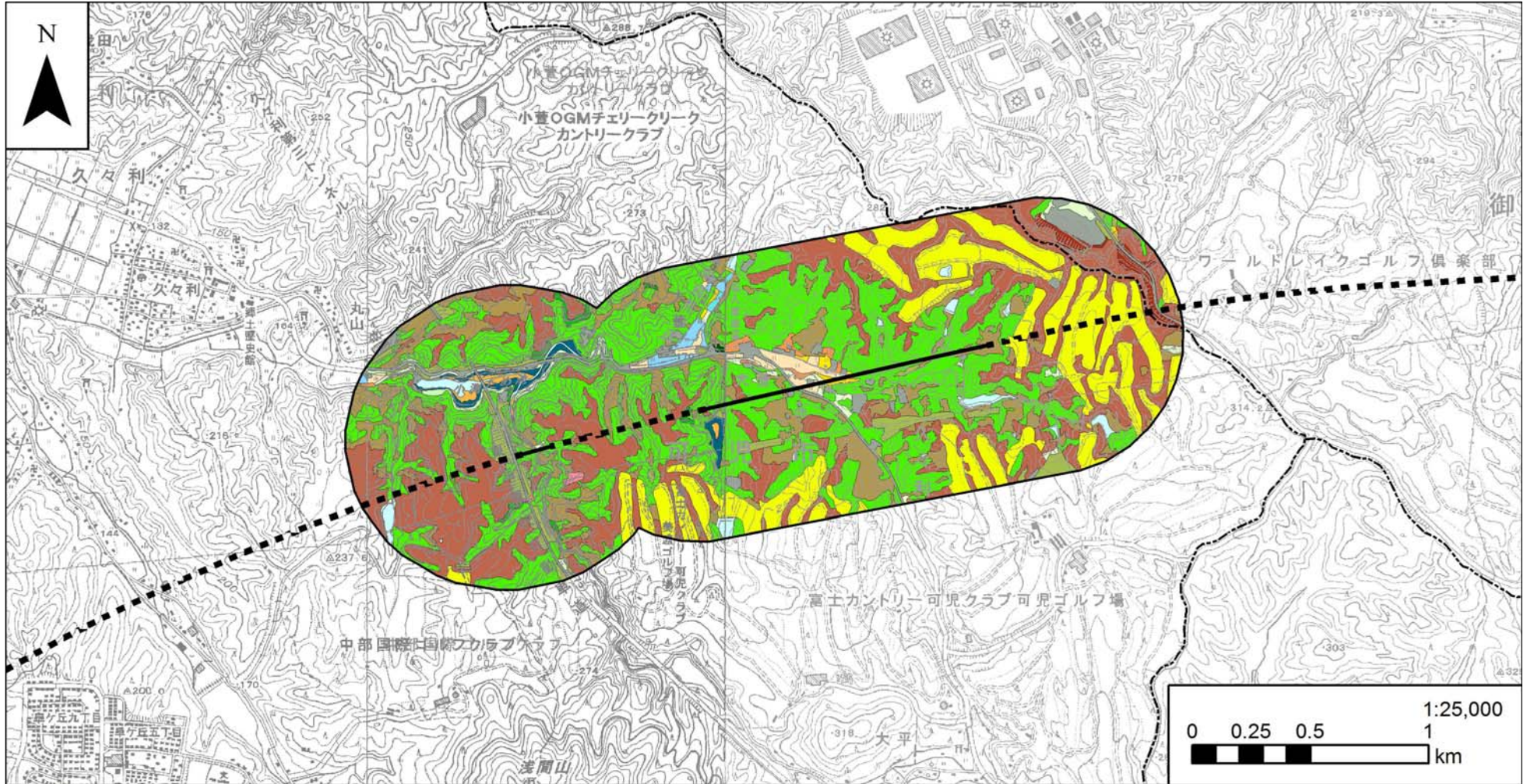


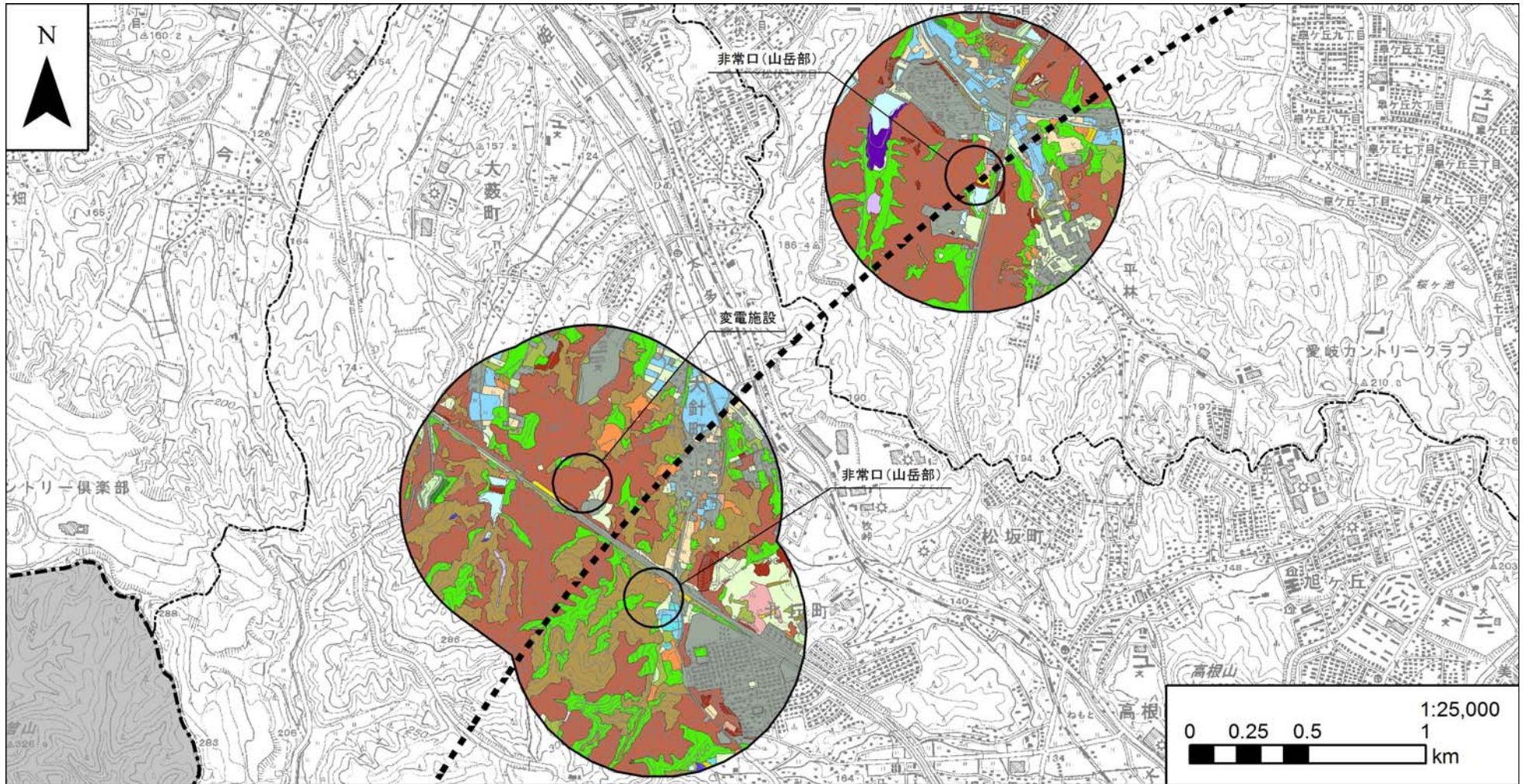
図 8-4-2-2(8) 植生図



- 凡例
- 計画路線(トンネル部)    □ 調査地域
  - 計画路線(地上部)
  - - - 県境
  - ..... 市区町村境

図 8-4-2-2(9) 植生図





凡例

- 計画路線(トンネル部)    □ 調査地域
- 計画路線(地上部)
- - - 県境
- ..... 市区町村境

図 8-4-2-2(10) 植生図

#### 4) 高等植物に係る重要な群落の確認状況

高等植物に係る重要な群落は、文献調査及び現地調査の結果、調査地域においては確認されなかった。

## (2) 予測及び評価

### 1) 予測

#### ア. 予測項目

現地調査で確認された重要な種及び群落に対する工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在による影響について予測した。

#### イ. 予測の基本的な手法

既存の知見の引用又は解析により、重要な種及び群落への影響の種類、影響の箇所、影響の程度について予測した。

#### ウ. 予測地域

予測地域は、工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在に係る重要な種及び群落への影響が生じるおそれがあると認められる地域として、調査地域と同様とした。

#### エ. 予測対象時期

予測対象時期は、工事中及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の完成時とした。

#### オ. 予測対象種及び群落

予測対象種及び群落は、文献調査及び現地調査によって対象事業実施区域及びその周囲に生育する可能性が高いと考えられる重要な種及び群落とした。

なお、「御嵩町版レッドデータブック：御嵩町の絶滅のおそれのある野生生物 2007（鳥類、蝶類、植物、魚類・貝類編）」（平成 19 年、御嵩町）及び「御嵩町希少野生生物保護条例」（平成 18 年、御嵩町条例第 17 号）の指定希少野生生物は、御嵩町で確認された場合、予測対象種とした。

また、希少種保護の観点から、重要な種及び群落の詳細な確認位置については明示していない。

重要な種及び群落の予測対象種を表 8-4-2-11 に示す。

表 8-4-2-11 予測対象種及び群落

区分	種名及び群落名
<p>高等植物</p> <p>現地調査で確認された種 (84 種※)</p> <p>※84 種には、<i>Lecanorchis</i> 属の 1 種を含む。</p>	<p>ヤチスギラン、(マンネンスギ)、カミガモシダ、サクラバハンノキ、(ツノハシバミ)、イヌブナ、サイコクヌカボ、ヤナギヌカボ、ヌカボタデ、(ナンバンハコベ)、シデコブシ、ミスミソウ、カザグルマ、ヘビノボラズ、(ヒツジグサ)、トウカイコモウセンゴケ、シラヒゲソウ、(ウメバチソウ)、ザイフリボク、(オオウラジロノキ)、ユクノキ、イヌハギ、(マキエハギ)、カキノハグサ、(ヒナノカンザシ)、ハナノキ、(タマミズキ)、ミズマツバ、タチモ、イブキボウフウ、(アキノギンリョウソウ)、ウスギヨウラク、レンゲツツジ、ヒトツバタゴ、(アイナエ)、(アケボノソウ)、イヌセンブリ、スズサイコ、(ホタルカズラ)、(ミズタバコ)、(ジュウニヒトエ)、ミズトラノオ、(キノキバナアキギリ)、スズメハコベ、ミカワシオガマ、オオヒキヨモギ、イワタバコ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ、(マツムシソウ)、キキョウ、(オクモミジハグマ)、ヒダアザミ、(スイラン)、サワギク、アギナシ、(カタクリ)、(イワショウブ)、ホトトギス、ミカワバイケイソウ、(ノハナショウブ)、ツクシクロイヌノヒゲ、シラタマホシクサ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ、ヒナザサ、ウンヌケモドキ、ウンヌケ、ウラシマソウ、ヒメミクリ、ムギラン、エビネ、(ギンラン)、キンラン、セッコク、ミヤマウズラ、サギソウ、(<i>Lecanorchis</i> 属)、ジガバチソウ、クモキリソウ、ヨウラクラン、(コケイラン)、カヤラン</p> <p>( ) は御嵩町で未確認のため予測対象種から除外</p>
<p>文献調査において対象事業実施区域及びその周囲に生育する可能性が高いと考えられる重要な種の内、現地調査で確認されなかった種 (123 種)</p>	<p>ミズスギ、スギラン、ミズニラ、ヒメムカゴシダ、クジャクシダ、オクタマシダ、ミヤマシシガシラ、テバコワラビ、イワヤシダ、イヨクジャク、クラガリシダ、オオクボシダ、デンジソウ、サンショウモ、オオアカウキクサ、ヤマモモ、ナガバノウナギツカミ、ノダイオウ、オキナグサ、ヒキノカサ、ノカラマツ、ジュンサイ、ヒメコウホネ、ヤマシャクヤク、アゼオトギリ、イシモチソウ、コモウセンゴケ、コイヌガラシ、イワレンゲ、ツメレンゲ、キバナハナネコノメ、ニッコウネコノメソウ、ヤワタソウ、タコノアシ、ヤシヤビシヤク、ナメラダイモンジソウ、ツチグリ、ハスノハイチゴ、ミヤマモミジイチゴ、ミヤマタニワタシ、タチフウロ、ノウルシ、ホソエカエデ、アケボノスミレ、ミズキカシグサ、サワゼリ、ウメガサソウ、サラサドウダン、イワナンテン、ホザキツリガネツツジ、ウラジロヨウラク、アズマシヤクナゲ、クリンソウ、コケリンドウ、フデリンドウ、ムラサキセンブリ、ミツガシワ、ガガブタ、クサナギオゴケ、タチガシワ、ハナムグラ、マメダオシ、タチキランソウ、ヤマジソ、セキヤノアキチヨウジ、ミゾコウジュ、ミヤマママコナ、ゴマノハグサ、イヌノフグリ、カワヂシャ、タヌキモ、ヒメタヌキモ、イヌタヌキモ、コキンレイカ、カノコソウ、ツルギキョウ、バアソブ、イワヨモギ、リョウノウアザミ、ヒゴタイ、ムカシヨモギ、フジバカマ、アキノハハコグサ、ミズギク、カセンソウ、タカサゴソウ、カワラニガナ、ヤマタバコ、サワオグルマ、オナモミ、スブタ、ヤナギスブタ、トチカガミ、ミズオオバコ、コバノヒルムシロ、ホッスモ、ソクシンラン、キイトラッキョウ、サクライソウ、アマナ、キツネノカミソリ、ヒメシヤガ、カキツバタ、クロイヌノヒゲ、ヒメザゼンソウ、ナガエミクリ、サヤマスゲ、ヒナラン、イワチドリ、マメヅタラン、ナツエビネ、クマガイソウ、アツモリソウ、サワラン、ミズトンボ、ムヨウラン、ヒナチドリ、カモメラン、ウチヨウラン、トキソウ、マツラン、モミラン、クモラン</p>
<p>群落</p> <p>現地調査で確認された群落 (0 群落)</p> <p>文献調査において対象事業実施区域及びその周囲に生育する可能性があると考えられる重要な群落の内、現地調査で確認されなかった群落 (0 群落)</p>	<p>—</p> <p>—</p>

## カ. 影響予測の手順

影響予測は図 8-4-2-3 に示す手順に基づき行った。

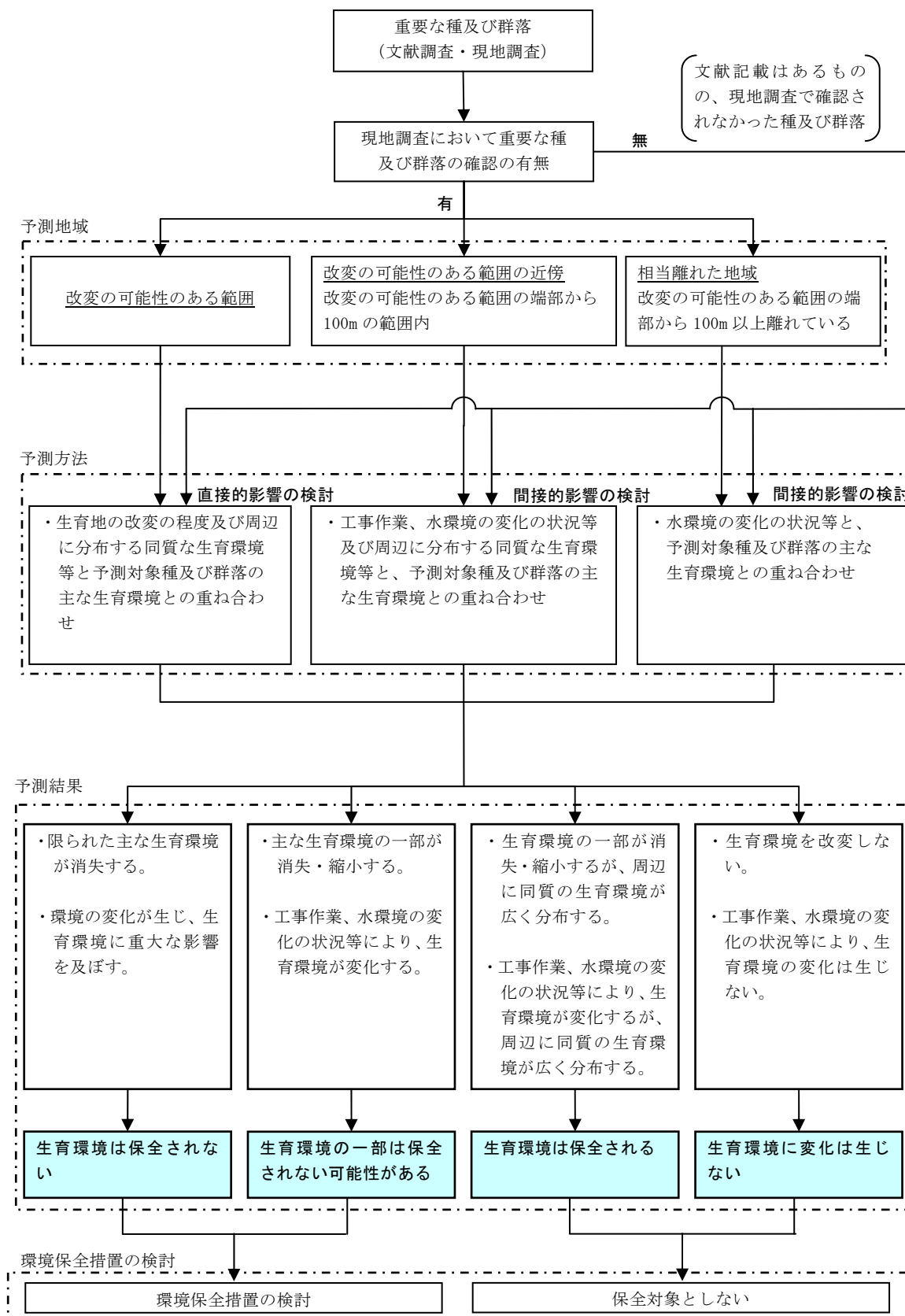


図 8-4-2-3 影響予測の手順

## キ. 予測結果

現地調査により確認されている重要な種及び群落については、対象事業の実施によりその生育地や生育環境が改変される程度について予測した。なお、文献調査により対象事業実施区域及びその周囲に生育するとされている重要な種及び群落のうち、現地調査で確認されなかった種については、対象事業の実施によりその種の生育環境が改変される程度を予測した。

### 7) 現地調査で確認された重要な種及び群落の生育環境への影響

現地調査で確認された重要な種の予測結果の概要を表 8-4-2-12 に示す。

また、個別の種に対する詳細な予測結果を表 8-4-2-13 に示す。なお、重要な群落は確認されなかった。

表 8-4-2-12 (1) 重要な種の予測結果の概要

No.	種名	確認種の 生育環境	確認位置			生育環境への 影響
			変更の可 能性のある 範囲	変更の可 能性のある 範囲の 近傍	相当離れた 地域	
1	ヤチスギラン	貧栄養湿地			○	生育環境に変化は生じない
2	カミガモシダ	山地の岩上、林床			○	生育環境に変化は生じない
3	サクラバハハンノキ	湿地	○	○	○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
4	イヌブナ	やや乾燥した山地			○	生育環境に変化は生じない
5	サイコクヌカボ	河川敷、低湿地			○	生育環境に変化は生じない
6	ヤナギヌカボ	水路等岸辺			○	生育環境に変化は生じない
7	ヌカボタデ	河川敷等水辺			○	生育環境に変化は生じない
8	シデコブシ	湿地	○	○	○	生育環境は保全される
9	ミスミソウ	落葉広葉樹林の林床			○	生育環境に変化は生じない
10	カザグルマ	湿地等の林縁	○	○	○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
11	ヘビノボラズ	湿地等の林縁	○	○	○	生育環境は保全される
12	トウカイコモウセンゴケ	貧栄養湿地		○	○	生育環境は保全される
13	シラヒゲソウ	山地谷沿いの湿地			○	生育環境は保全される
14	ザイフリボク	雑木林の林縁	○	○	○	生育環境は保全される
15	ユクノキ	山地			○	生育環境に変化は生じない
16	イヌハギ	河原等の砂地			○	生育環境に変化は生じない
17	カキノハグサ	山地の林内	○		○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
18	ハナノキ	川岸等湿った所	○	○	○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
19	ミズマツバ	水田、湿地	○	○	○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
20	タチモ	貧栄養の湖沼、ため池		○	○	生育環境は保全される
21	イブキボウフウ	草地	○	○	○	生育環境の一部は保全されない可能性がある
22	ウスギヨウラク	山地の林縁、岩陰		○	○	生育環境は保全される
23	レンゲツツジ	草原、林縁			○	生育環境に変化は生じない
24	ヒトツバタゴ	やや湿った林内		○	○	生育環境は保全される

表 8-4-2-12 (2) 重要な種の予測結果の概要

No.	種名	確認種の 生育環境	確認位置			生育環境への 影響
			改変の可 能性のある 範囲	改変の可 能性のある 範囲の 近傍	相当離れた 地域	
25	イヌセンブリ	湿地			○	生育環境は保全される
26	スズサイコ	日当たりのよい 草地	○	○	○	生育環境の一部は保全され ない可能性がある
27	ミズトラノオ	湿地	○			生育環境の一部は保全され ない可能性がある
28	スズメハコベ	湿地			○	生育環境は保全される
29	ミカワシオガマ	日当たりの良い 湿地、林縁			○	生育環境に変化は生じない
30	オオヒキヨモギ	乾燥した草地			○	生育環境に変化は生じない
31	イワタバコ	湧水のある日陰 の岩場		○	○	生育環境は保全される
32	ミミカキグサ	湿地	○	○	○	生育環境の一部は保全され ない可能性がある
33	ホザキノミミカキ グサ	湿地	○		○	生育環境の一部は保全され ない可能性がある
34	ムラサキミミカキ グサ	湿地			○	生育環境は保全される
35	キキョウ	日当たりのよい 草地	○	○	○	生育環境の一部は保全され ない可能性がある
36	ヒダアザミ	落葉広葉樹林の 林床			○	生育環境に変化は生じない
37	サワギク	やや湿り気のある 林内			○	生育環境に変化は生じない
38	アギナシ	湖沼、ため池、 水田、湿地等			○	生育環境に変化は生じない
39	ホトトギス	山地の崖等やや 湿った所			○	生育環境に変化は生じない
40	ミカワバイケイソ ウ	低山帯の湿原		○	○	生育環境は保全される
41	ツクシクロイヌノ ヒゲ	干上がったため 池の岸			○	生育環境は保全される
42	シラタマホシクサ	湿地			○	生育環境に変化は生じない
43	クロホシクサ	湿地	○			生育環境の一部は保全され ない可能性がある
44	ヒメコヌカグサ	山の水湿地	○	○	○	生育環境の一部は保全され ない可能性がある
45	ヒナザサ	山野の水辺、湿 地			○	生育環境に変化は生じない
46	ウンヌケモドキ	山地草原			○	生育環境に変化は生じない
47	ウンヌケ	低山草原			○	生育環境に変化は生じない



表 8-4-2-12 (3) 重要な種の予測結果の概要

No.	種名	確認種の 生育環境	確認位置			生育環境への 影響
			改変の可 能性のある 範囲	改変の可 能性のある 範囲の 近傍	相当離れた 地域	
48	ウラシマソウ	山野の木陰			○	生育環境に変化は生じない
49	ヒメミクリ	湖沼、ため池、 湿原等		○	○	生育環境は保全される
50	ムギラン	常緑樹林内の 樹幹や岩上に 着生		○	○	生育環境は保全される
51	エビネ	山野の落葉樹 林内			○	生育環境に変化は生じない
52	キンラン	落葉樹林内	○	○	○	生育環境の一部は保全され ない可能性がある
53	セッコク	樹上、岩上に着 生			○	生育環境に変化は生じない
54	ミヤマウズラ	山地の林内		○	○	生育環境は保全される
55	サギソウ	日当たりのよ い湿原			○	生育環境に変化は生じない
56	ジガバチソウ	クリ帯からブ ナ帯の疎林の 林床			○	生育環境に変化は生じない
57	クモキリソウ	林内	○	○	○	生育環境は保全される
58	ヨウラクラン	樹幹、岩上に着 生			○	生育環境に変化は生じない
59	カヤラン	樹幹に着生			○	生育環境に変化は生じない

表 8-4-2-13 (1) 重要な種の予測結果

ヤチスギラン (ヒゲノカズラ科)	
一般生態	北海道、本州 (近畿地方中部以北) に分布する。貧栄養の湿地に生える多年生シダ植物。直立茎は高さ 4~13cm、胞子のう穂は直立茎の先端に通常 1 個つき、長さ 2~4cm、胞子葉はやや開出し、狭線形、基部は広く、先は細くとがる。
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>多治見市において秋季調査時に合計 1 地点 (2.5×2.0m の範囲) で確認された。確認された 1 地点 (2.5×2.0m の範囲) は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種は、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道施設 (トンネル) の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種は、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (2) 重要な種の予測結果

カミガモシダ (チャセンシダ科)	
一般生態	本州 (新潟県、岐阜県以西)、四国、九州に分布する。山地の岩上や地上に生じる常緑性のシダ。中軸の先端は伸びて、地に接したところで芽をつけ、無性的に繁殖するので、やや密な群落をつくることがある。日本固有種で、京都府から兵庫県 (中・北部) ではやや普通であるが、他ではまれである。
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>可児市において春季及び秋季調査時に合計 2 地点 30 個体が確認された。確認された 2 地点 30 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された 2 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (3) 重要な種の予測結果

サクラバハノキ (カバノキ科)	
一般生態	本州（茨城・栃木・新潟県以西）、九州（宮崎県）に分布する。湿地にまれに生える落葉高木。高さ 10～15m、直径 20cm 程になる。花は 2～3 月に葉に先立って開く。雄花序は枝の先に 4～5 個ついて下垂する。雌花序はその下方に 3～5 個つき、短い柄がある。
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 61 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 21 地点 36 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 1 個体、改変の可能性のある近傍で 3 地点 9 個体、相当離れた地域で 17 地点 26 個体確認された。</li> <li>・恵那市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 29 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 3 地点 7 個体、相当離れた地域で 26 地点 100 個体以上確認された。</li> <li>・瑞浪市においては、春季調査時に合計 4 地点 29 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 4 個体、相当離れた地域で 3 地点 25 個体確認された。</li> <li>・御嵩町においては、春季調査時に合計 2 地点 3 個体が確認された。確認された 2 地点 3 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、春季調査時に合計 1 地点 2 個体が確認された。確認された 1 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・多治見市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 4 地点 10 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 7 個体、改変の可能性のある近傍で 1 地点 1 個体、相当離れた地域で 2 地点 2 個体確認された。</li> </ul>
予測結果	<p>工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市瀬戸・駒場地区（1 地点）、多治見市西山町・大針町地区（1 地点）において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>・その他、本種が確認された 8 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、51 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、中津川市瀬戸・駒場地区、多治見市西山町・大針町地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	<p>鉄道施設の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設（トンネル）の存在により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (4) 重要な種の予測結果

イヌブナ (ブナ科)		
一般生態	本州 (岩手・石川県以西)、四国、九州に分布する。落葉高木。高さ 25m、直径 20cm 程になる。ブナより少し標高の低いところに生え、太平洋側のやや乾燥した山地に多い。中部地方以北の日本海側の多雪地帯にはほとんど分布しない。萌芽力が旺盛。花期は、4～5 月。果実は堅果で、その年の秋に熟す。雄花序は新枝の下部の葉腋に数個つき、長軟毛を密生する長さ 1～1.3cm の柄をもつ。	
確認状況	中津川市、御嵩町、可児市において合計 5 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、春季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。確認された 2 地点 2 個体は相当離れた地域であった。</li> <li>・御嵩町においては、春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。確認された 2 地点 2 個体は相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 5 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (5) 重要な種の予測結果

サイコクヌカボ (タデ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。河川敷、ため池の周辺等の低湿地に生育する 1 年草。花期は 9 月～10 月。総状花序は長さ 5～6cm で先端はたれ、まばらに花をつける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可児市において秋季調査時に合計 1 地点 16 個体が確認された。確認された 1 地点 16 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (6) 重要な種の予測結果

ヤナギヌカボ (タデ科)		
一般生態	北海道、本州、九州に分布する。山地帯、丘陵帯の農業用水池等の岸辺に生育する 1 年草。花期は 9 月～10 月。高さ 40～60cm、花は枝の先にまばらな 5～6cm の穂状につく。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可児市において秋季調査時に合計 1 地点 100 個体以上が確認された。確認された 1 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (7) 重要な種の予測結果

ヌカボタデ (タデ科)	
一般生態	本州、四国、九州に分布する。丘陵帯の河川敷の水辺等に生育する 1 年草。花期は 9 月～11 月。高さ 20～40cm、花は枝の先にまばらに穂状につく。
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可児市において秋季調査時に合計 1 地点 20 個体が確認された。確認された 1 地点 20 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (8) 重要な種の予測結果

シデコブシ (モクレン科)		
一般生態	<p>本州（東海地方の伊勢湾周辺地域）に分布する。湿地やその周辺に生える落葉小高木。高さ 5m 程になる。自生地では群生し、純林をつくる。花期は 3～4 月で、葉が展開する前に直径 7～10cm の芳香のある花を開く。花被片は 12～18 個。ふつう白色だが、淡紅色を帯びるものもある。果実は 10 月頃熟す。</p>	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 100 地点以上で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計 65 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 15 地点 32 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 8 地点 50 個体、相当離れた地域で 42 地点 100 個体以上確認された。</li> <li>・恵那市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計 38 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 4 地点 12 個体、相当離れた地域で 34 地点 100 個体以上確認された。</li> <li>・御嵩町においては、早春季、春季及び夏季調査時に合計 14 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 2 個体、相当離れた地域で 13 地点 100 個体以上確認された。</li> <li>・可児市においては、早春季、春季及び夏季調査時に合計 11 地点 42 個体が確認された。確認された 11 地点 42 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・多治見市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計 18 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 2 地点 11 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 2 地点 3 個体、相当離れた地域で 14 地点 100 個体以上確認された。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 17 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市瀬戸・駒場地区（6 地点）、中津川市千旦林地区（8 地点）、中津川市茄子川地区（1 地点）、多治見市西山町・大針町地区（2 地点）において、生育環境の一部が消失する可能性があるが、同地区で改変の可能性のある範囲外にも本種が多数確認されており、周辺に同質の環境が広く分布すると考えられることから、同地区の生育環境は保全される。</li> <li>・その他、本種が確認された 15 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、100 地点以上は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設（トンネル）の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (9) 重要な種の予測結果

ミスミノウ (キンポウゲ科)		
一般生態	本州（中部地方以西）と九州北部に分布する。落葉広葉樹林の林床にはえる常緑の多年草。花期は 3～4 月。高さ 10～15cm の花茎を出し、径 1～1.5cm 位の花を頂生する。花色は白色、淡紫色、淡青紫色、淡紅色等変異が大きい。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市において早春季調査時に合計 1 地点 10 個体が確認された。確認された 1 地点 10 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (10) 重要な種の予測結果

カザグルマ (キンポウゲ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。林縁に生える落葉性のつる性の低木。湿り気の多い所を好み、湿地にも生える一方、蛇紋岩地帯にも見かける。花期は 5～6 月。花は直径 7～12cm と大きく、上向きに咲く。萼片は白色又は淡紫色で花弁のように見える。花が大型で美しいため、古くから栽培され、園芸種も多い。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市において合計 24 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市においては、春季調査時に合計 17 地点 35 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 2 地点 3 個体、相当離れた地域で 15 地点 32 個体確認された。</li> <li>恵那市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 7 地点 15 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 3 個体、相当離れた地域で 6 地点 12 個体確認された。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市瀬戸・駒場地区（2 地点）において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>その他、本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、21 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性はあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、中津川市瀬戸・駒場地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道施設（トンネル）の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性はあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (11) 重要な種の予測結果

ヘビノボラズ (メギ科)		
一般生態	<p>本州 (中部地方南西部、近畿地方)、九州 (宮崎県) に分布する。湧水湿地周辺の林縁や疎林内に生育する小型の落葉低木。高さ 80cm 程で、枝には鋭い刺がある。花期は 4~5 月。短枝の先より垂れ下がる総状花序をだし、数個の花をつける。花は黄色で径約 6mm。</p>	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、可児市、多治見市において合計 35 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 11 地点 52 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 30 個体、相当離れた地域で 10 地点 22 個体確認された。</li> <li>・恵那市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 18 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 3 地点 13 個体、相当離れた地域で 15 地点 100 個体以上確認された。</li> <li>・瑞浪市においては、春季調査時に合計 1 地点 9 個体が確認された。確認された 1 地点 9 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、春季及び夏季調査時に合計 2 地点 3 個体が確認された。確認された 2 地点 3 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・多治見市においては、春季及び秋季調査時に合計 3 地点 5 個体が確認された。確認された 3 地点 5 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市千旦林地区 (1 地点) において、生育環境の一部が消失する可能性があるが、同地区で改変の可能性のある範囲外にも本種が多数確認されており、周辺に同質の環境が広く分布すると考えられることから、同地区の生育環境は保全される。</li> <li>・その他、本種が確認された 3 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、31 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設 (トンネル) の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>



表 8-4-2-13 (12) 重要な種の予測結果

トウカイコモウセンゴケ (モウセンゴケ科)		
一般生態	本州（東海地方以西）に分布する。貧栄養湿地に生育する多年生の食虫植物。常緑であり、モウセンゴケのように休眠芽は形成しないことから、霜が降らないような場所でしか生育することができない。花はピンク色で、花期は7～8月。	
確認状況	瑞浪市、可児市において合計6地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞浪市においては、夏季調査時に合計1地点20個体が確認された。確認された1地点20個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計5地点100個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点50個体、相当離れた地域で4地点100個体以上確認された。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、5地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設（トンネル）の存在により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (13) 重要な種の予測結果

シラヒゲソウ (ユキノシタ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。山地谷沿いの湿地に生える多年草。花期は8～9月。花茎は高さ10～30cm、茎頂に直径2～2.5cmの白色花を1個つける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市において秋季調査時に合計1地点100個体以上が確認された。確認された1地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設（トンネル）の存在により、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (14) 重要な種の予測結果

ザイフリボク (バラ科)		
一般生態	本州 (岩手県以南)、四国、九州に分布する。雑木林の林縁などに生える落葉小高木。花期は 4~5 月。葉は楕円形で、葉柄に白い軟毛が生える。花は白色。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 15 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、春季及び秋季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 1 個体、相当離れた地域で 1 地点 1 個体が確認された。</li> <li>・恵那市においては、夏季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・御嵩町においては、秋季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。確認された 2 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲の近傍であった。</li> <li>・多治見市においては、春季及び秋季調査時に合計 9 地点 10 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 1 個体、相当離れた地域で 8 地点 9 個体が確認された。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された多治見市の 1 地点は改変の可能性のある範囲であったが、本種を重要な種と位置づける御嵩町 (御嵩町版レッドデータブック) では、改変の可能性のある範囲から相当離れた地域で確認されているため、御嵩町の本種の生育環境は保全される。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (15) 重要な種の予測結果

ユクノキ (マメ科)		
一般生態	本州 (富士・箱根を除く関東地方西部~富山県以西)、四国、九州に分布する。山地に生える落葉高木。花期は 6~8 月。葉はふつう奇数羽状複葉で小葉は互生する。葉の裏は粉白色を帯びる。	
確認状況	<p>中津川市、御嵩町、可児市において合計 5 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、夏季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・御嵩町においては、秋季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、春季及び夏季調査時に合計 3 地点 3 個体が確認された。確認された 3 地点 3 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 5 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (16) 重要な種の予測結果

イヌハギ (マメ科)		
一般生態	本州～琉球に分布する。川原や海に近い日当たりのよい砂地に生える半低木。花期は7～9月。全体に黄褐色の軟毛がある。花は帯黄白色。閉鎖花をよくつける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>多治見市において秋季調査時に合計1地点20個体が確認された。確認された1地点20個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (17) 重要な種の予測結果

カキノハグサ (ヒメハギ科)		
一般生態	本州(東海地方以西)に分布する。山地の林内に生える多年草。花期は5～6月。花は橙色を帯びた黄色で長さ約2cm、茎頂に総状につく。	
確認状況	<p>御嵩町、可児市において合計5地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>御嵩町においては、秋季調査時に合計3地点22個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で1地点4個体、相当離れた地域で2地点18個体確認された。</li> <li>可児市においては、秋季調査時に合計2地点3個体が確認された。確認された2地点3個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、御嵩町美佐野地区(1地点)において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>その他、本種が確認された4地点は、相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、御嵩町美佐野地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (18) 重要な種の予測結果

ハナノキ (カエデ科)		
一般生態	本州（長野県、愛知県、岐阜県）に分布する。山地の川岸等湿った所に生える落葉高木。花期は 4 月。葉は広卵形で浅く 3 裂する。裏面は粉白色。花は紅色。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 75 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計 44 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 7 地点 10 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 3 地点 3 個体、相当離れた地域で 34 地点 97 個体確認された。</li> <li>・恵那市においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計 8 地点 12 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 2 地点 6 個体、相当離れた地域で 6 地点 6 個体確認された。</li> <li>・瑞浪市においては、早春季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。確認された 2 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・御嵩町においては、早春季、春季、夏季及び秋季調査時に合計 17 地点 29 個体が確認された。確認された 17 地点 29 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、春季及び秋季調査時に合計 2 地点 6 個体が確認された。確認された 2 地点 6 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・多治見市においては、早春季調査時に合計 2 地点 2 個体が確認された。確認された 2 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 7 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市千旦林地区（6 地点）、茄子川地区（1 地点）において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>・その他、本種が確認された 5 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、63 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、中津川市千旦林地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設（トンネル）の存在により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (19) 重要な種の予測結果

ミズマツバ (ミソハギ科)	
一般生態	本州 (中南部)、四国、九州の水田や湿地に生える高さ 3~10 cm の 1 年草。花期は 8~10 月。名は 3~4 個ずつ輪生した葉を松の葉に例えたもの。
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 23 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、夏季及び秋季調査時に合計 13 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 10 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 2 地点 25 個体、相当離れた地域で 10 地点 100 個体以上確認された。</li> <li>・恵那市においては、秋季調査時に合計 3 地点 13 個体が確認された。確認された 3 地点 13 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・瑞浪市においては、秋季調査時に合計 3 地点 21 個体が確認された。確認された 3 地点 21 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・御嵩町においては、夏季調査時に合計 1 地点 100 個体以上が確認された。確認された 1 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、秋季調査時に合計 2 地点 20 個体が確認された。確認された 2 地点 20 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・多治見市においては、秋季調査時に合計 1 地点 8 個体が確認された。確認された 1 地点 8 個体は改変の可能性のある範囲であった。</li> </ul>
予測結果	<p>工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市山口地区 (1 地点)、多治見市西山町・大針町地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>・その他、本種が確認された 2 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、19 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、中津川市山口地区、多治見市西山町・大針町地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	<p>鉄道施設の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設 (トンネル) の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (20) 重要な種の予測結果

タチモ (アリノトウグサ科)		
一般生態	全国の貧栄養の湖沼やため池の浅水中又は水辺に生育する多年生の沈水～抽水～湿生植物。花期は6～9月。雌雄異株で、水中と陸上で顕著な異形葉を示す両生植物である。	
確認状況	中津川市、可児市において合計2地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、夏季調査時に合計1地点100個体が確認された。確認された1地点100個体は改変の可能性がある範囲の近傍であった。</li> <li>・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計1地点(広範囲での疎生)が確認された。確認された1地点(広範囲での疎生)は改変の可能性がある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された1地点は改変の可能性がある範囲の近傍、1地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設(トンネル)の存在により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (21) 重要な種の予測結果

イブキゴウフウ (セリ科)		
一般生態	北海道と本州(近畿地方以北)の草地に生える高さ30～90cmの多年草。花期は8～9月。全草有毛で、茎はよく分枝する。葉は2～3回3出複葉で、小葉は細かく裂ける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可児市において、春季、夏季及び秋季調査時に4地点82個体が確認された。その内、改変の可能性がある範囲で1地点50個体、改変の可能性がある範囲の近傍で1地点3個体、相当離れた地域で2地点29個体確認された。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された1地点は改変の可能性がある範囲であった。そのため、工事の実施により、可児市久々利地区(1地点)において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>・その他、本種が確認された1地点は改変の可能性がある範囲の近傍、2地点は相当離れた範囲であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、可児市久々利地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (22) 重要な種の予測結果

ウスギヨウラク (ツツジ科)		
一般生態	本州 (山梨・長野県以西)、四国 (徳島県) の山地の林縁や岩陰に生える、高さ 1~2m の落葉低木。花期は 4~6 月。枝先に黄緑白色の花が 1~8 個集まってつく。	
確認状況	中津川市、御嵩町、可児市において合計 18 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、早春季調査時に合計 2 地点 4 個体が確認された。確認された 2 地点 4 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・御嵩町においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 11 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 2 地点 32 個体、改変の可能性のある範囲から相当離れた地域で 9 地点 100 個体以上確認された。</li> <li>・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計 5 地点 23 個体が確認された。確認された 5 地点 23 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 2 地点は、改変の可能性のある範囲の近傍、16 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (23) 重要な種の予測結果

レンゲツツジ (ツツジ科)		
一般生態	本州、四国、九州の丘陵から亜高山帯下部の草原や林縁に生える落葉低木。花期は 5~7 月上旬で、葉の展葉と同時に開花する。有毒植物で家畜が食べないため、放牧地等にも多い。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市において春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (24) 重要な種の予測結果

ヒトツバタゴ (モクセイ科)		
一般生態	本州 (長野・岐阜・愛知県) と九州 (長崎県対馬) の丘陵地のやや湿った林内に生える落葉高木。花期は 5 月。新枝の先に円錐花序を出し、白い花を多数つける。雌雄異株で、高さ 30m、胸高直径 70 cm に達する。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可児市において春季、夏季及び秋季調査時に 6 地点 8 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 2 個体、相当離れた地域で 5 地点 6 個体確認された。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本種が確認された 1 地点は、改変の可能性のある範囲の近傍、5 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・ また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・ したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (25) 重要な種の予測結果

イヌセンブリ (リンドウ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。湿地に生える 1~2 年草。花期は 10~11 月。花は白色で淡紫色のすじがある。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瑞浪市において秋季調査時に合計 1 地点 12 個体が確認された。確認された 1 地点 12 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・ また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性はあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・ したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道施設 (トンネル) の存在により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性はあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・ また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>



表 8-4-2-13 (26) 重要な種の予測結果

スズサイコ (ガガイモ科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の日当たりのよいやや乾いた草地に生える多年草。花期は 7～8 月。茎の先や上部の葉腋から花序を出し、直径 1～2 cm の黄褐色の花をまばらにつける。	
確認状況	中津川市、恵那市、瑞浪市、可児市において合計 9 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市においては、夏季調査時に合計 4 地点 47 個体が確認された。確認された 4 地点 47 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>恵那市においては、夏季調査時に合計 2 地点 11 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 10 個体、相当離れた地域で 1 地点 1 個体確認された。</li> <li>瑞浪市においては、夏季及び秋季調査時に合計 2 地点 6 個体が確認された。確認された 2 地点 6 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>可児市においては、春季調査時に合計 1 地点 5 個体が確認された。確認された 1 地点 5 個体は改変の可能性のある範囲であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、可児市久々利地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>その他、本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、7 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、可児市久々利地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (27) 重要な種の予測結果

ミズトラノオ (シソ科)		
一般生態	本州、四国、九州の湿地に生える高さ 30～50 cm の多年草。花期は 8～10 月。葉は 3～4 個ずつ輪生し、地下茎を長く伸ばして増える。茎の先に長さ 2～8 cm の花穂をだし、淡紅色の花を密生する。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市において、夏季調査時に 1 地点 50 個体が確認された。確認された 1 地点 50 個体は改変の可能性のある範囲であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市瀬戸・駒場地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性はあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、生育環境の一部は保全されない可能性があると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道施設 (トンネル) の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性はあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (28) 重要な種の予測結果

スズメハコベ (ゴマノハグサ科)		
一般生態	本州 (関東以西)、四国、九州、沖縄の湿地に生える小さな1年草。花期は7~10月。茎は細長く長さ5~20cm。葉は小さく長さ2~5mm、幅1~2mm。葉腋に小さな花をつける。	
確認状況	中津川市、恵那市、可児市において合計11地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、秋季調査時に合計8地点100個体以上が確認された。確認された8地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・恵那市においては、秋季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。確認された2地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された11地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設 (トンネル) の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (29) 重要な種の予測結果

ミカワシオガマ (ゴマノハグサ科)		
一般生態	本州 (中部地方の伊勢湾に面した地域) に分布する。丘陵帯の丘陵山間部にある日当たりの良い湿地や林縁に生える多年草。花期は10月。高さ40cm。花は紅紫色。	
確認状況	恵那市、瑞浪市において合計3地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵那市においては、秋季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。確認された2地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・瑞浪市においては、秋季調査時に合計1地点3個体が確認された。確認された1地点3個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された3地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設 (トンネル) の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (30) 重要な種の予測結果

オオヒキヨモギ (ゴマノハグサ科)	
一般生態	本州 (関東地方以西)、四国に分布する。丘陵帯の低地の乾燥した草地に生育する多年草。花期は 8~9 月。高さ 30~70cm、花は黄色で長さ 3cm 程度。
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可児市において秋季調査時に合計 2 地点 13 個体が確認された。確認された 2 地点 13 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本種が確認された 2 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (31) 重要な種の予測結果

イワタバコ (イワタバコ科)	
一般生態	本州 (福島県以西)、四国、九州のいつも水がしみ出ているような日陰の岩場に生える多年草。花期は 6~8 月。葉は短い根茎から 1~2 個でて、長さ 10~30 cm、幅 5~15 cm の楕円状倒卵形で表面にしわが多い。
確認状況	中津川市、御嵩町、可児市において合計 8 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中津川市においては、早春季及び夏季調査時に合計 4 地点 73 個体が確認された。確認された 4 地点 73 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・ 御嵩町においては、春季及び秋季調査時に合計 2 地点 100 個体以上が確認された。確認された 2 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・ 可児市においては、早春季及び秋季調査時に合計 2 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 100 個体、相当離れた地域で 1 地点 100 個体確認された。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、7 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・ また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性はあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・ また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・ したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道施設 (トンネル) の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性はあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・ また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (32) 重要な種の予測結果

ミミカキグサ (タヌキモ科)		
一般生態	本州、四国、九州、沖縄の湿地に生える多年生の食虫植物。花期は8～10月。地中に白い糸状の地下茎をのばし、小さな捕虫囊をつける。花茎は高さ5～15 cmになり、上部に直径約5 mmの黄色の花を数個つける。	
確認状況	中津川市、瑞浪市、可児市、多治見市において合計22地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、夏季及び秋季調査時に合計12地点100個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で3地点100個体以上、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点30個体、相当離れた地域で8地点100個体以上確認された。</li> <li>・瑞浪市においては、夏季調査時に合計1地点5個体が確認された。確認された1地点5個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、夏季及び秋季調査時に合計7地点100個体以上が確認された。確認された7地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・多治見市においては、夏季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。確認された2地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された3地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により中津川市千旦林地区(2地点)、茄子川地区(1地点)において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>・その他、本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、18地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、中津川市千旦林地区、茄子川地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設(トンネル)の存在により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (33) 重要な種の予測結果

ホザキノミミカキグサ (タヌキモ科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の湿地に生える多年生の食虫植物。花期は 6～9 月。地下茎に捕虫囊をつけるが、数は少ない。花茎は高さ 10～30 cm になり、上部に直径約 4 mm の紅紫色の花をつける。	
確認状況	中津川市、瑞浪市、可児市、多治見市において合計 12 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、夏季及び秋季調査時に合計 5 地点 65 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 9 個体、相当離れた地域で 4 地点 56 個体確認された。</li> <li>・瑞浪市においては、夏季調査時に合計 1 地点 3 個体が確認された。確認された 1 地点 3 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、秋季調査時に合計 5 地点 100 個体以上が確認された。確認された 5 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・多治見市においては、夏季調査時に合計 1 地点 70 個体が確認された。確認された 1 地点 70 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により中津川市茄子川地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>・その他、本種が確認された 11 地点は相当離れた地域であるため、生育環境の変化は生じない。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、中津川市茄子川地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設 (トンネル) の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (34) 重要な種の予測結果

ムラサキミミカキグサ (タヌキモ科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の湿地に生える多年生の食虫植物。花期は 8～9 月。地下茎にまばらに捕虫囊をつける。花茎は高さ 5～15 cm になり、上部に直径 3～4 mm の淡紫色の花を 1～4 個つける。花茎には鱗片状の葉が数個つく。	
確認状況	・ 可見市において夏季調査時に合計 1 地点 10 個体が確認された。確認された 1 地点 10 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・ また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・ したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道施設（トンネル）の存在により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>・ また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (35) 重要な種の予測結果

キキョウ (キキョウ科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の日当たりのよい草地に生える、高さ 0.5～1m の多年草。花期は 7～9 月。葉は互生し、長さ 4～7 cm の狭卵形で鋭い鋸歯がある。茎の先に青紫色の花が数個つく。	
確認状況	<p>中津川市、瑞浪市において合計 7 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中津川市においては、夏季及び秋季調査時に合計 6 地点 31 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 5 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 1 個体、相当離れた地域で 4 地点 25 個体確認された。</li> <li>・ 瑞浪市においては、秋季調査時に合計 1 地点 2 個体が確認された。確認された 1 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により中津川市千旦林地区（1 地点）において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>・ その他、本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、5 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>・ また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・ したがって、中津川市千旦林地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (36) 重要な種の予測結果

ヒダアザミ (キク科)		
一般生態	岐阜県に分布する。山地帯の落葉広葉樹林の林床に生育する多年草。花期は9月～10月。高さ15～50cm。花は赤紫色。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瑞浪市において秋季調査時に合計7地点100個体以上が確認された。確認された7地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本種が確認された7地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (37) 重要な種の予測結果

サワギク (キク科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州の山地のやや湿り気のある林内に生える、高さ0.6～1mの多年草。花期は6～8月。葉はまばらに互生し、薄くて羽状に全裂する。頭花は黄色で枝先にやや散状に多数つく。	
確認状況	<p>中津川市、御嵩町において合計2地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中津川市においては、夏季調査時に合計1地点3個体が確認された。確認された1地点3個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・ 御嵩町においては、春季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本種が確認された2地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (38) 重要な種の予測結果

アギナシ (オモダカ科)		
一般生態	全国の湖沼やため池、水田、湿地等に生育する抽水性～湿生の多年草。花期は 7～10 月。類似種のオモダカと異なり、本種は山間の池沼や湿原等、より自然度の高い環境に生育する。	
確認状況	中津川市、恵那市において合計 5 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、夏季及び秋季調査時に合計 4 地点 100 個体以上が確認された。確認された 4 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・恵那市においては、秋季調査時に合計 1 地点 2 個体が確認された。確認された 1 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 5 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設（トンネル）の存在により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (39) 重要な種の予測結果

ホトトギス (ユリ科)		
一般生態	北海道(西南部)、本州、四国、九州に分布する。山地の崖等やや湿ったところに生える多年草。花期は、8～9 月。花は葉腋につき、長さは約 2.5cm、内側に紅紫色の斑点が多数つく。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御嵩町において秋季調査時に合計 1 地点 100 個体が確認された。確認された 1 地点 100 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>



表 8-4-2-13 (40) 重要な種の予測結果

ミカワバイケイソウ (ユリ科)		
一般生態	愛知県と長野県に分布する。山地から亜高山帯の湿原に群生する。コバイケイソウの変種。花期は、5月。葉が細く、花は小型。花被片はふちに細かい切れ込みがあり、雄しべより短い。	
確認状況	中津川市、恵那市、御嵩町において合計 21 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市においては、春季及び夏季調査時に合計 3 地点 74 個体が確認された。確認された 3 地点 74 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>恵那市においては、春季及び夏季調査時に合計 15 地点 100 個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で 1 地点 10 個体、相当離れた地域で 14 地点 100 個体以上確認された。</li> <li>御嵩町においては、春季調査時に合計 3 地点 100 個体以上が確認された。確認された 3 地点 100 個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、20 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道施設（トンネル）の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (41) 重要な種の予測結果

ツクシクロイヌノヒゲ (ホシクサ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。干上がったため池の岸に生育する 1 年草。花期は 9～10 月。花茎は少数のものから 50 本以上出るものまであり、中央のものが最も長くて高さ 8～20cm、基部に 3～6.5cm の鞘があり、先端に 1 個の頭花をつける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>可児市において秋季調査時に合計 1 地点(群生)が確認された。確認された 1 地点(群生)は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道施設（トンネル）の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (42) 重要な種の予測結果

シラタマホシクサ (ホシクサ科)		
一般生態	本州（静岡・愛知・三重・岐阜県）に分布する。伊勢湾沿岸の湿地にだけ生える1年草。花期は、8～10月。花茎はややねじれ、高さ20～40cmになる。頭花に白い毛が多く、白い球のようなのでつけられた。	
確認状況	・中津川市において秋季調査時に合計1地点20個体が確認された。確認された1地点20個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	鉄道施設の存在	・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-13 (43) 重要な種の予測結果

クロホシクサ (ホシクサ科)		
一般生態	本州（関東地方・富山県以西）、四国、九州、沖縄に分布する。湿地に生える1年草。花期は8～9月。花茎はややねじれ、高さ10～20cmになり藍黒色の頭花をつける。	
確認状況	・中津川市において、秋季調査時に1地点100個体以上が確認された。確認された1地点100個体以上は改変の可能性のある範囲であった。	
予測結果	工事の実施	・本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により、中津川市千旦林地区（1地点）において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。 ・また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種は、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。 ・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。 ・したがって、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。
	鉄道施設の存在	・鉄道施設（トンネル）の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種は、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。 ・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。 ・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-13 (44) 重要な種の予測結果

ヒメコヌカグサ (イネ科)		
一般生態	本州(関東以西)、四国、九州に分布する。山の水湿地にまれに生える多年草。花期は、5～6月。小穂は長さ2.5～3mm、淡緑色で、しばしば赤紫色に染まり、1小花からなって小花は熟すと包えいを残して散る。	
確認状況	中津川市、恵那市、可児市において合計6地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市においては、春季調査時に合計2地点35個体が確認された。確認された2地点35個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>恵那市においては、春季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。確認された2地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>可児市においては、春季調査時に合計2地点23個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で1地点20個体、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点3個体確認された。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により可児市久々利地区(1地点)において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>その他、本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、4地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、可児市久々利地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道施設(トンネル)の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境への影響は小さい。</li> <li>また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13(45) 重要な種の予測結果

ヒナザサ (イネ科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。山野の水辺や湿地にまれに見られる1年草。花期は8～10月。円錐花序は長さ1.5～3cm、まばらに数本の枝を分け、わずかに4～25個ほどの小穂からなって、中軸も枝も平滑。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>可児市において秋季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。確認された2地点100個体以上は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された2地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>また、トンネルの工事により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道施設(トンネル)の存在により、破碎帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性のあるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (46) 重要な種の予測結果

ウンヌケモドキ (イネ科)		
一般生態	本州中部地方、九州に分布する。低山草原上に生える多年草。花期は 9～11 月。花序は 3～7 個の総からなり、総は斜めに立って、長さ 6～12cm。小穂は長さ 5～6mm。	
確認状況	・ 可児市において秋季調査時に合計 2 地点 11 個体が確認された。確認された 2 地点 11 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・ 本種が確認された 2 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	鉄道施設の存在	・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-13 (47) 重要な種の予測結果

ウンヌケ (イネ科)		
一般生態	本州中部地方、九州に分布する。低山草原上に生える多年草。花期は 9～10 月。花序は 4～9 個の総からなり、総は直立又は軽く外側に反り、長さ 10～15cm。黄褐色の短毛を密生する。	
確認状況	・ 可児市において秋季調査時に合計 8 地点 24 個体が確認された。確認された 8 地点 24 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・ 本種が確認された 8 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	鉄道施設の存在	・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-13 (48) 重要な種の予測結果

ウラシマソウ (サトイモ科)		
一般生態	北海道 (南部)、本州、四国 (東部)、九州に分布する。山野の木陰に生える多年草。花期は 3～5 月。葉柄の基部から花茎を出し、葉の陰に紫褐色の仏炎苞に包まれた肉穂花序をつける。	
確認状況	・ 可児市において春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。	
予測結果	工事の実施	・ 本種が確認された 1 地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。
	鉄道施設の存在	・ 工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。 ・ したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。

表 8-4-2-13 (49) 重要な種の予測結果

ヒメミクリ (ミクリ科)	
一般生態	全国の湖沼、ため池、湿原等に生育する多年生の抽水～湿生植物。花期は6～9月。果実は長さ4～5mm、幅2～3mm、倒卵形で、先端は長さ1～2mmの嘴を除けばドーム状に低く盛り上がった形である。
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市において、夏季調査時に2地点70個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点20個体、相当離れた地域で1地点50個体確認された。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、1地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布するため、生育環境は保全される。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (50) 重要な種の予測結果

ムギラン (ラン科)	
一般生態	本州（関東地方以西、四国、九州）に分布する。常緑樹林内の樹幹や岩上に着生する常緑の多年草。花期は6～7月で、黄白色の花を1個つける。
確認状況	中津川市、瑞浪市において合計3地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市においては、早春季、夏季及び秋季調査時に合計2地点100個体以上が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点100個体以上、相当離れた地域で1地点100個体以上確認された。</li> <li>瑞浪市においては、早春季調査時に合計1地点(カヤに着床)が確認された。確認された1地点(カヤに着床)は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された1地点は改変の可能性のある範囲の近傍、2地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すると考えられることから、生育環境は保全される。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (51) 重要な種の予測結果

エビネ (ラン科)	
一般生態	北海道（西南部）、本州、四国、沖縄に分布する。山野の落葉樹林内に生える多年草。花期は4～5月。花茎は高さ30～50cmで、多数の花が総状につく。
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>可児市において秋季調査時に合計1地点6個体が確認された。確認された1地点6個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (52) 重要な種の予測結果

キンラン (ラン科)	
一般生態	本州、四国、九州に分布する。落葉樹林内に生える多年草。花期は 4～6 月。茎は高さ 30～70cm で、茎頂に直径約 1cm の鮮黄色の花を 3～12 個つける。
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計 14 地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲の近傍であった。</li> <li>・恵那市においては、春季調査時に合計 1 地点 2 個体が確認された。確認された 1 地点 2 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・瑞浪市においては、春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・御嵩町においては、秋季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 9 地点 19 個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で 1 地点 5 個体、改変の可能性のある範囲の近傍で 3 地点 3 個体、相当離れた地域で 5 地点 11 個体確認された。</li> <li>・多治見市においては、春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>
予測結果	<p>工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 1 地点は改変の可能性のある範囲であった。そのため、工事の実施により可児市久々利地区 (1 地点) において、主な生育環境の一部が消失する可能性がある。</li> <li>・その他、本種が確認された 4 地点は改変の可能性のある範囲の近傍、9 地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すると考えられることから、生育環境は保全される。</li> <li>・また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、可児市久々利地区の一部地域において、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測する。</li> </ul>
	<p>鉄道施設の存在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (53) 重要な種の予測結果

セッコク (ラン科)	
一般生態	本州、四国、九州、沖縄に分布する。樹上や岩上に多数の根をだし着生する多年草。花期は5～6月。葉の落ちた節から細い花茎を出し、白色～淡紅色の花を1～2個つける。
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市において夏季調査時に合計1地点3個体が確認された。確認された1地点3個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (54) 重要な種の予測結果

ミヤマウズラ (ラン科)	
一般生態	北海道(中部)、本州、四国、九州に分布する。山地の林内に生える多年草。花期は8～9月。花茎は高さ約15cmで、綿毛を密生し、一方にかたよった穂状に5～10個の淡紅色花をつける。
確認状況	中津川市、恵那市、御嵩町、可児市、多治見市において合計6地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市においては、夏季調査時に合計2地点18個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点10個体、相当離れた地域で1地点8個体確認された。</li> <li>恵那市においては、秋季調査時に合計1地点6個体が確認された。確認された1地点6個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>御嵩町においては、秋季調査時に合計1地点9個体が確認された。確認された1地点9個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>可児市においては、夏季調査時に合計1地点2個体が確認された。確認された1地点2個体は改変の可能性のある範囲の近傍であった。</li> <li>多治見市においては、秋季調査時に合計1地点30個体が確認された。確認された1地点30個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>
予測結果	工事の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された2地点は改変の可能性のある範囲の近傍、4地点は相当離れた地域であり、生育環境の一部が縮小する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すると考えられることから、生育環境は保全される。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じない。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (55) 重要な種の予測結果

サギソウ (ラン科)		
一般生態	本州、四国、九州に分布する。山野の日当たりのよい湿原に生える高さ15~40cmの多年草。花期は8月で、花は1~4個つき、白色で直径約3cm。	
確認状況	中津川市、恵那市、瑞浪市、可児市において合計7地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、夏季調査時に合計2地点7個体が確認された。確認された2地点7個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・恵那市においては、夏季調査時に合計2地点40個体が確認された。確認された2地点40個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・瑞浪市においては、夏季及び秋季調査時に合計1地点6個体が確認された。確認された1地点6個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、夏季調査時に合計2地点6個体が確認された。確認された2地点6個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された7地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・また、トンネルの工事により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道施設（トンネル）の存在により、破砕帯等の周辺にある河川の一部において流量への影響の可能性があるものの、本種の多くは、表層の地下水による湧水及び雨水起源の土壌水により生育していると考えられることから、生育環境への影響は及ばない。</li> <li>・また、工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (56) 重要な種の予測結果

ジガバチソウ (ラン科)		
一般生態	北海道、本州、四国、九州に分布する。クリ帯からブナ帯の疎林の中に生える多年草。花期は5~7月。花茎は高さ8~20cmで、花はふつう暗紫色、ときに淡緑色をおびる。	
確認状況	中津川市、御嵩町において合計3地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、春季及び夏季調査時に合計2地点2個体が確認された。確認された2地点2個体は相当離れた地域であった。</li> <li>・御嵩町においては、秋季調査時に合計1地点1個体が確認された。確認された1地点1個体は相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された3地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>



表 8-4-2-13 (57) 重要な種の予測結果

クモキリソウ (ラン科)		
一般生態	日本全土に分布する。林内に生える多年草。花期は6～8月。花茎は高さ10～20cmで、5～15個の花をつける。	
確認状況	<p>中津川市、恵那市、瑞浪市、御嵩町、可児市、多治見市において合計38地点で確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計26地点99個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で1地点2個体、改変の可能性のある範囲の近傍で2地点13個体、相当離れた地域で23地点84個体確認された。</li> <li>恵那市においては、春季及び秋季調査時に合計2地点2個体が確認された。確認された2地点2個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>瑞浪市においては、夏季及び秋季調査時に合計2地点14個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点1個体、相当離れた地域で1地点13個体確認された。</li> <li>御嵩町においては、夏季及び秋季調査時に合計2地点2個体が確認された。確認された2地点2個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>可児市においては、秋季調査時に合計4地点12個体が確認された。その内、改変の可能性のある範囲で1地点4個体、改変の可能性のある範囲の近傍で1地点6個体、相当離れた地域で2地点2個体確認された。</li> <li>多治見市においては、夏季及び秋季調査時に合計2地点13個体が確認された。確認された2地点13個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された中津川市の1地点、可児市の1地点は改変の可能性のある範囲であったが、本種を重要な種と位置づける御嵩町（御嵩町版レッドデータブック）では、改変の可能性のある範囲から相当離れた地域で確認されているため、御嵩町の本種の生育環境は保全される。</li> <li>また、工事の実施に伴う排水は、必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから、本種の生育環境への影響は及ばない。</li> <li>したがって、生育環境は保全されると予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (58) 重要な種の予測結果

ヨウラクラン (ラン科)		
一般生態	本州（宮城県以南）、四国、九州、沖縄に分布する。樹幹や岩上に着生する小型の多年草。花期は4～6月。茎は長さ1～4cmで束生し、茎頂に長さ3～8cmの花序をつけ、淡黄褐色の直径1ミリほどの小さな花を総状に多数つける。	
確認状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>中津川市において夏季調査時に合計1地点20個体が確認された。確認された1地点20個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本種が確認された1地点は相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

表 8-4-2-13 (59) 重要な種の予測結果

カヤラン (ラン科)		
一般生態	本州 (岩手県以南)、四国、九州に分布する。基部から多数の根をだし、樹幹に着生する常緑性の多年草。花期は 4~5 月。葉腋から細い花茎を出し、数個の黄色花を総状につける。	
確認状況	中津川市、瑞浪市、可児市において合計 3 地点で確認された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中津川市においては、夏季調査時に合計 1 地点 50 個体が確認された。確認された 1 地点 50 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・瑞浪市においては、春季、夏季及び秋季調査時に合計 1 地点 6 個体(ウメに着床)が確認された。確認された 1 地点 6 個体(ウメに着床)は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> <li>・可児市においては、春季調査時に合計 1 地点 1 個体が確認された。確認された 1 地点 1 個体は改変の可能性のある範囲から相当離れた地域であった。</li> </ul>	
予測結果	工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本種が確認された 3 地点はすべて相当離れた地域であるため、生育環境に変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>
	鉄道施設の存在	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の実施による生育環境の改変以外に新たな改変はないことから、鉄道施設の存在による生育環境の変化は生じない。</li> <li>・したがって、生育環境に変化は生じないと予測する。</li> </ul>

#### イ) 文献でのみ記載がある重要な種及び群落の生育環境への影響

文献調査において対象事業実施区域及びその周囲に生育する可能性があると考えられる重要な種の内、現地調査で確認されなかった重要な種は 123 種であった。また、重要な群落は確認されなかった。

予測対象種は、ミズスギ、スギラン、ミズニラ、ヒメムカゴシダ、クジャクシダ、オクタマシダ、ミヤマシシガシラ、テバコワラビ、イワヤシダ、イヨクジャク、クラガリシダ、オオクボシダ、デンジソウ、サンショウモ、オオアカウキクサ、ヤマモモ、ナガバノウナギツカミ、ノダイオウ、オキナグサ、ヒキノカサ、ノカラマツ、ジュンサイ、ヒメコウホネ、ヤマシャクヤク、アゼオトギリ、イシモチソウ、コモウセンゴケ、コイヌガラシ、イワレンゲ、ツメレンゲ、キバナハナネコノメ、ニッコウネコノメソウ、ヤワタソウ、タコノアシ、ヤシャビシヤク、ナメラダイモンジソウ、ツチグリ、ハスノハイチゴ、ミヤマモミジイチゴ、ミヤマタニワタシ、タチフウロ、ノウルシ、ホソエカエデ、アケボノスミレ、ミズキカシグサ、サワゼリ、ウメガサソウ、サラサドウダン、イワナンテン、ホザキツリガネツツジ、ウラジロヨウラク、アズマシャクナゲ、クリンソウ、コケリンドウ、フデリンドウ、ムラサキセンブリ、ミツガシワ、ガガブタ、クサナギオゴケ、タチガシワ、ハナムグラ、マメダオシ、タチキランソウ、ヤマジソ、セキヤノアキチョウジ、ミゾコウジュ、ミヤマママコナ、ゴマノハグサ、イヌノフグリ、カワヂシャ、タヌキモ、ヒメタヌキモ、イヌタヌキモ、コキンレイカ、カノコソウ、ツルギキョウ、バアソブ、イワヨモギ、リョウノウアザミ、ヒゴタイ、ムカシヨモギ、フジバカマ、アキノハハコグサ、ミズギク、カセンソウ、タカサゴソウ、カワラニガナ、ヤマタバコ、サワオグルマ、オナモミ、スブタ、ヤナギスブタ、トチカガミ、ミズオオバコ、コバノヒルムシロ、ホッスモ、ソクシンラン、キイトラッキョウ、サクライソウ、アマナ、キツネノカミソリ、ヒメシャガ、カキツバタ、クロイヌノヒゲ、ヒメザゼンソウ、ナガエミクリ、サヤマスゲ、ヒナラン、イワチドリ、マメヅタラン、ナツエビネ、クマガイソウ、アツモリソウ、サワラン、ミズトンボ、ムヨウラン、ヒナチドリ、カモメラン、ウチョウラン、トキソウ、マツラン、モミラン、クモランの 123 種である。

スギラン、ヒメムカゴシダ、クジャクシダ、オクタマシダ、ミヤマシシガシラ、テバコワラビ、イワヤシダ、クラガリシダ、オオクボシダ、ヤマモモ、ヤマシャクヤク、ヤシャビシヤク、ハスノハイチゴ、ミヤマモミジイチゴ、ミヤマタニワタシ、ホソエカエデ、アケボノスミレ、ウメガサソウ、サラサドウダン、ホザキツリガネツツジ、ウラジロヨウラク、アズマシャクナゲ、クリンソウ、クサナギオゴケ、タチガシワ、タチキランソウ、セキヤノアキチョウジ、ミヤマママコナ、ツルギキョウ、バアソブ、リョウノウアザミ、サクライソウ、キツネノカミソリ、ヒメシャガ、サヤマスゲ、マメヅタラン、ナツエビネ、クマガイソウ、アツモリソウ、ムヨウラン、ヒナチドリ、カモメラン、マツラン、モミラン、クモランの 45 種は、山地、里地・里山の樹林及び林縁等が主な生育環境である。この内、スギラン、オクタマシダ、ヤシャビシヤク、マメヅタラン、ヒナチドリ、マツラン、モミラン、クモランの 8 種は樹木の枝や樹幹等に着生する植物である。

ノダイオウ、オキナグサ、ノカラマツ、アゼオトギリ、ツチグリ、タチフウロ、コケリンドウ、フデリンドウ、ムラサキセンブリ、マメダオシ、ヤマジソ、ゴマノハグサ、イヌノフグリ、カノコソウ、ヒゴタイ、フジバカマ、アキノハハコグサ、タカサゴソウ、オナモミ、ソクシンラン、アマナの 21 種は、山地、里地・里山の路傍、河川敷等の草原、草地等が主な生育環境である。ミズスギ、ミズニラ、イヨクジャク、デンジソウ、サンショウモ、オオアカウキクサ、ナガバノウナギツカミ、ヒキノカサ、ジュンサイ、ヒメコウホネ、イシモチソウ、コモウセンゴケ、コイヌガラシ、キバナハナネコノメ、ニッコウネコノメソウ、ヤワタソウ、タコノアシ、ノウルシ、ミズキカシグサ、サワゼリ、ミツガシワ、ガガブタ、ハナムグラ、ミゾコウジュ、カワヂシャ、タヌキモ、ヒメタヌキモ、イヌタヌキモ、ミズギク、カセンソウ、ヤマタバコ、サワオグルマ、スブタ、ヤナギスブタ、トチカガミ、ミズオオバコ、コバノヒルムシロ、ホッスモ、カキツバタ、クロイヌノヒゲ、ヒメザゼンソウ、ナガエミクリ、ヒナラン、イワチドリ、サワラン、ミズトンボ、ウチョウラン、トキソウの 48 種は、山地、里地・里山の沢、池沼、湿地、水田等の水域や水辺周辺が主な生育環境である。また、イワレンゲ、ツメレンゲ、ナメラダイモンジソウ、イワナンテン、コキンレイカ、イワヨモギ、ムカシヨモギ、カワラニガナ、キイイトラッキョウの 9 種は、山地、里地・里山の岩壁、砂礫地等が主な生育環境である。

このため、工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在により、重要な種の生育環境の一部が消失、縮小する可能性が考えられるが、周辺に同質の生育環境が広く分布すること、工事に伴う排水は必要に応じて沈砂池、濁水処理設備を配置し、処理することから生育環境の消失、縮小は一部に留められる。また、対象事業実施区域及びその周囲の多くの植物は雨水起源の土壌水で生育していると考えられるため、地下水位の変化による生育環境への影響は及ばない。

したがって、事業の実施による影響の程度はわずかであり、重要な種の生育環境は保全されると予測する。

## 2) 環境保全措置の検討

### ア. 環境保全措置の検討の状況

本事業では、計画の立案の段階において、植物に係る環境影響を回避又は低減するため「重要な種の生育環境の全体又は一部を回避」、「工事に伴う改変区域をできる限り小さくする」及び「工事施工ヤード等の林縁保護植栽等の実施」について検討した。さらに、事業者により実行可能な範囲内で、工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在による植物に係る環境影響を回避又は低減することを目的として、環境保全措置の検討を行った。

検討にあたっては、「重要な種の生育環境の全体又は一部を回避」、「工事に伴う改変区域をできる限り小さくする」を基本とした上で、さらに影響を低減させる措置を実施する。また、その結果を踏まえ、必要な場合には、損なわれる環境の有する価値を代償するための措置を検討した。

環境保全措置の検討の状況を表 8-4-2-14 に示す。

なお、工事計画を検討するにあたっては、重要な種の生育状況及び専門家の助言を踏まえ、環境影響を可能な限り回避又は低減した上で、必要な場合には損なわれる環境の有する価値を代償するための措置を講じていく。

表 8-4-2-14(1) 環境保全措置の検討の状況

環境保全措置	保全対象種	実施の適否	適否の理由
重要な種の生育環境の全体又は一部を回避	サクラバハンノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ	適	重要な種の生育環境の全体又は一部を回避することで、影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。
工事に伴う変更区域をできる限り小さくする	保全対象種全般	適	工事ヤード内に設置する諸設備を検討し、設置する設備やその配置を工夫することにより、重要な種の生育環境の変更をできる限り小さくすることで、重要な種への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。
外来種の拡大抑制	—	適	資材及び機械の運搬に用いる車両のタイヤ洗浄や工事後の施工ヤードの速やかな在来種による緑化等に努める。また、作業員に対し、外来種拡大防止対策の重要性について教育を行うことで、外来種の拡大を抑制し、生育環境への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。
工事従事者への講習・指導	保全対象種全般	適	工事区域外への不必要な立ち入り等を制限することで、踏みつけ等による重要な種への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。
工事施工ヤード等の林縁保護植栽等の実施	保全対象種全般	適	変更する区域の一部に工事の実施に際し、周辺の植生を考慮した上で、使用した工事施工ヤード等の定期的な下刈りや、適切に管理しながら林縁保護植栽等を図り、その効果を確認することにより、林内環境への影響を軽減し、重要な種の生育環境への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。
汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置	サクラバハンノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ	適	汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置により汚濁水の発生が抑えられ、また、排水の水温を下げることで、水辺の植物等の生育環境への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。
放流時の放流箇所及び水温の調整	トンネルからの湧水を放流する河川を生育環境とする保全対象種全般	適	トンネルからの湧水量が多く河川・沢の温度への影響の可能性のあるような場合は、河川・沢の流量を考慮して放流箇所を調整するとともに、難しい場合は外気に晒して温度を河川と同程度にしてから放流することで、水辺の植物の生育環境への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。
重要な種の移植・播種	サクラバハンノキ、カザグルマ、カキノハグサ、ハナノキ、ミズマツバ、イブキボウフウ、スズサイコ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ、キンラン	適	回避、低減のための環境保全措置を講じた上で、そこに生育する重要な種の一部が、やむを得ず消失することとなる場合は、代償措置として、消失する環境の近傍において、消失する環境に類似した環境を持つ場所へ移植・播種を行うことで、重要な種への影響を代償することができることから、環境保全措置として採用する。

表 8-4-2-14(2) 環境保全措置の検討の状況

環境保全措置	保全対象種	実施の適否	適否の理由
重要な種の生育環境の創出	ミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ	適	回避、低減のための環境保全措置を講じた上で、そこに生育する重要な種の一部が、やむを得ず消失することとなる場合は、代償措置として、消失する環境の近傍においては、湿地、草地、水の流れ及びたまり場を確保するとともに、水際には在来種の湿生植物を植栽した生育環境を創出することで、重要な種への影響を代償することができることから、環境保全措置として採用する。

イ. 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容

本事業では、工事の実施（切土工等又は既存の工作物の除去、トンネルの工事又は工事施工ヤードの設置）及び鉄道施設（トンネル、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の存在による植物に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「重要な種の生育環境の全体又は一部を回避」、「工事に伴う改変区域をできる限り小さくする」、「外来種の拡大抑制」、「工事従事者への講習・指導」、「工事施工ヤード等の林縁保護植栽等の実施」、「汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置」、「放流時の放流箇所及び水温の調整」、「重要な種の移植・播種」及び「重要な種の生育環境の創出」を実施する。

なお、「重要な種の移植・播種」にあたっては、専門家の助言を踏まえ、対象種ごとに、移植・播種の場所、時期、方法、監視方法等を含む実施計画を作成のうえ、実施する。

また、工事排水の排出先となる河川においては、モニタリングを実施し、排水による影響を監視していく計画としている。

環境保全措置の内容を表 8-4-2-15 に示す。

表 8-4-2-15 (1) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	重要な種の生育環境の全体又は一部を回避
	保全対象種	サクラバハシノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ
	時期・期間	工事前
環境保全措置の効果	重要な種の生育環境の全体又は一部を回避することで、影響を回避又は低減できる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-15 (2) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	工事に伴う改変区域をできる限り小さくする
	保全対象種	保全対象種全般
	時期・期間	工事前
環境保全措置の効果	工事ヤード内に設置する諸設備を検討し、設置する設備やその配置を工夫することなどにより、重要な種の生育環境の改変をできる限り小さくすることで、重要な種への影響を回避又は低減できる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-15 (3) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	外来種の拡大抑制
	保全対象種	—
	時期・期間	工事中
環境保全措置の効果	資材及び機械の運搬に用いる車両のタイヤ洗浄や工事後の施工ヤードの速やかな在来種による緑化等に努める。また、作業員に対し、外来種拡大防止対策の重要性について教育を行うことで、外来種の拡大を抑制し、生育環境への影響を回避又は低減できる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-15 (4) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	工事従事者への講習・指導
	保全対象種	保全対象種全般
	時期・期間	工事中
環境保全措置の効果	工事区域外への不必要な立ち入り等を制限することで、踏みつけ等による重要な種への影響を低減できる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-15 (5) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	工事施工ヤード等の林縁保護植栽等の実施
	保全対象種	保全対象種全般
	時期・期間	工事中
環境保全措置の効果	改変する区域の一部に工事の実施に際し、周辺の植生を考慮した上で、使用した工事施工ヤード等の定期的な下刈りや、適切に管理しながら林縁保護植栽等を図り、その効果を確認することにより、林内環境への影響を軽減し、重要な種の生育環境への影響を低減できる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-15 (6) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置
	保全対象種	サクラバハシノキ、カザグルマ、ハナノキ、ミズマツバ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ
	時期・期間	工事中
環境保全措置の効果	汚濁処理施設及び仮設沈砂池の設置により汚濁水の発生が抑えられ、また、排水の水温を下げることで、水辺の植物等の生育環境への影響を低減できる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	



表 8-4-2-15 (7) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	放流時の放流箇所及び水温の調整
	保全対象種	トンネルからの湧水を放流する河川を生育環境とする保全対象種全般
	時期・期間	工事中
環境保全措置の効果	トンネルからの湧水量が多く河川・沢の温度への影響の可能性のあるような場合は、河川・沢の流量を考慮して放流箇所を調整するとともに、難しい場合は外気に晒して温度を河川と同程度にしてから放流することで、水辺の植物の生育環境への影響を低減できる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-15 (8) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	重要な種の移植・播種
	保全対象種	サクラバハンノキ、カザグルマ、カキノハグサ、ハナノキ、ミズマツバ、イブキボウフウ、スズサイコ、ミズトラノオ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ、ヒメコヌカグサ、キンラン
	時期・期間	工事前
環境保全措置の効果	鉄道施設（非常口（山岳部）、地表式又は掘割式、嵩上式、駅、車両基地、換気施設、変電施設）の位置や形状の観点から、回避、低減のための環境保全措置を講じた上で、そこに生育する重要な種の一部が、やむを得ず消失することとなる場合は、代償措置として、消失する環境の近傍において、消失する環境に類似した環境（植生、光及び水分等の条件）を持つ場所へ移植・播種を行うことで、重要な種への影響を代償することができる。なお、重要な種の移植・播種は工事実施前に対象個体を確定し、生育環境の詳細な調査（コドラート調査等）を実施した上で、専門家の技術的助言を踏まえながら、対象種に係る移植・播種地や手法等の検討を行う。また、移植・播種後においても、生育状況の確認を行うことから、効果が期待できる。	
効果の不確実性	あり	
他の環境への影響	なし	

表 8-4-2-15 (9) 環境保全措置の内容

実施主体	東海旅客鉄道株式会社	
実施内容	種類・方法	重要な種の生育環境の創出
	保全対象種	ミミカキグサ、キキョウ、クロホシクサ
	時期・期間	工事前
環境保全措置の効果	車両基地の位置や形状の観点から、回避、低減のための環境保全措置を講じた上で、そこに生育する重要な種の一部が、やむを得ず消失することとなる場合は、代償措置として、消失する環境の近傍においては、湿地、草地、水の流れ及びたまり場を確保するとともに、水際には在来種の湿生植物を植栽した生育環境を創出することで、重要な種への影響を代償することができる。なお、生育環境の創出は、専門家の助言を得ながら行うことで、効果が期待できる。	
効果の不確実性	あり	
他の環境への影響	なし	

ウ. 環境保全措置の効果及び当該環境保全措置を講じた後の環境の変化の状況

環境保全措置の効果を表 8-4-2-15 に示す。環境保全措置を実施することで、植物に係る環境影響が回避又は低減される。

### 3) 事後調査

#### ア. 事後調査を行うこととした理由

本事業の実施による植物への影響は、環境保全措置を実施することにより影響を低減できるものと予測する。

しかし、一部の環境保全措置の効果に不確実性があることから、環境影響評価法に基づく事後調査を実施する。

#### イ. 事後調査の項目及び手法

実施する事後調査の内容を表 8-4-2-16 に示す。

なお、移植の事例については「資料編 15-4 重要な種の移植・播種の手法」に示すとおりである。また、クロホシクサの移植にあたっては、今後、有識者の指導を受けて段階的な試行も取り入れて行うことを考えている。

表 8-4-2-16 事後調査の概要

調査項目	調査内容	実施主体
移植・播種した植物の生育状況	○調査時期・期間 各種の生活史及び生育特性等に応じて設定 ○調査地域・地点 移植・播種を講じた植物の移植先生育地 ○調査方法 現地調査（任意観察）による確認 ※専門家の助言を踏まえながら実施する。	東海旅客鉄道株式会社
創出した生育環境の状況	○調査時期・期間 各種の生活史及び生育特性等に応じて設定 ○調査地域・地点 対象種について創出した生育環境地 ○調査方法 現地調査（任意観察）による確認 ※専門家の助言を踏まえながら実施する。	東海旅客鉄道株式会社

#### ウ. 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応の方針

事後調査の結果について、環境影響の程度が著しいと判明した場合は、その原因の把握に努めるとともに、専門家の助言も踏まえ、必要な場合には種の特性に合わせた改変時期の設定や改変期間の短縮についても検討し、改善を図るものとする。

#### エ. 事後調査の結果の公表方法

事後調査の結果の公表は、原則として事業者が行うものとするが、公表時期・方法等は、関係機関と連携しつつ適切に実施するものとする。

#### 4) 評価

##### ア. 評価の手法

###### ア) 回避又は低減に係る評価

調査・予測結果及び環境保全措置の検討を行った結果について、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減がなされているか、見解を明らかにすることにより行った。

##### イ. 評価結果

###### ア) 回避又は低減に係る評価

本事業では、大部分をトンネル構造にする等して、改変面積を極力小さくする計画とし、植物への影響の回避又は低減を図っている。

一部の種は、保全されない可能性があるとして予測されたが、「工事従事者への講習・指導」、「重要な種の移植・播種」及び「重要な種の生育環境の創出」等の環境保全措置を実施することで、影響の回避又は低減に努める。

なお、「重要な種の移植・播種」、「重要な種の生育環境の創出」は、環境保全措置の効果に不確実性が生じるため、事後調査を実施する。また、予測し得ない影響が生じた場合は、専門家の助言を踏まえて、別途対策を検討する。

このことから、植物に係る環境影響の回避又は低減が図られていると評価する。

